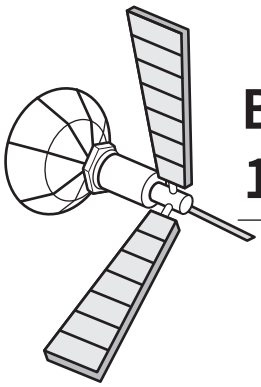
Empowered by Innovation NEC

パソコンで楽しむ
ＢＳデジタル放送

デジタルハイビジョン、データ放送、
多チャンネルの魅力を
ＢＳ・１１０度ＣＳデジタル放送でお楽しみください。

VALUESTAR



BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送を楽しもう

今までのテレビとは一味違う、BS・110 度 CS デジタル放送の
魅力をご紹介します。

BS デジタル放送･･･テレビは「見る」から「使う」へ

ワイドになった高精細画質で「見る」、CD 並の高音質で「聴く」

デジタルハイビジョン放送は、高画質・高音質に加え、「ワイド画面」という特長をもっています。人の視野角に近い 16:9 の横・縦比率で構成され（従来型は 4:3）、ゆがみのないワイド画面から「迫力」、「臨場感」、「開放感」、「質感」などが伝わってきます。
音声もデジタルサウンドによる CD 並の高音質を実現しています。

チャンネル数が増えて、バラエティに富んだ番組編成

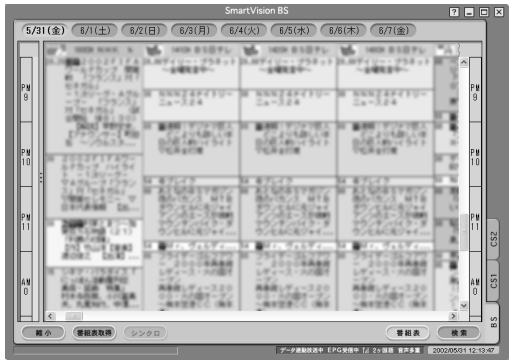
BSデジタル放送では、デジタル信号の圧縮技術を活用し、ひとつの電波で複数の番組を同時に送信することができます。そのため、テレビ放送に加えてラジオ放送やデータ放送など、チャンネル数が増えました。
「たくさんありすぎて、見たい番組をどうやって探せばいいの？」という方には、番組表からの検索もできるようになっているので、ぜひともご活用を。

データ放送は新しいテレビの使い方を提供します

データ放送は、文字や静止画像で構成された番組です。
データ放送によって、災害などの緊急時の通報を得たり、ニュースやスポーツ結果、最新の気象・金融情報に好きなときにアクセスできます。また、番組で登場した料理のレシピやお店の地図を確認したり、演奏曲目やアーティストの情報、イベントやキャンペーンなどのお知らせもキャッチ。そのほか、電話回線を使用して、アンケートやクイズに答えるなどの番組参加や、オンラインショッピングなど双方向サービスが利用できます。

ダブルクリックして見る･･･便利な番組表

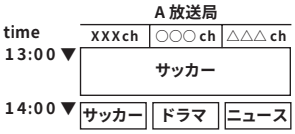
最大で 7 日先までの番組情報を衛星から受信して、パソコン画面に表示することができます。この番組表から見たい番組をダブルクリックするだけで、番組を見たり、録画予約もできるので、とても便利。



たくさんの情報を送ることができる BS デジタル放送だからできること

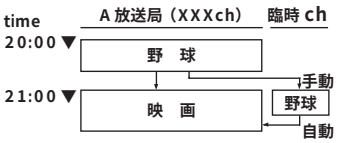
●マルチチャンネル

デジタルハイビジョンで放送されているひとつのチャンネルを最大３つのチャンネルに分割して、３つの番組を同時に放送することができます（この場合は、デジタルハイビジョンではなく、標準テレビ放送同等の画質になります）。



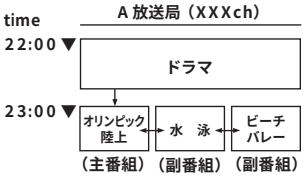
●臨時編成サービス

たとえば、野球の試合が延長になった場合などに、臨時に増設されたチャンネルで引き続き視聴できるサービスです。野球の次に予定されている番組は、もちろん定刻に開始して、こちらも視聴可能。野球中継が終わると臨時チャンネルも終わって、自動的に元のチャンネルに戻るようになっています。



●マルチビュー

マルチビューは、デジタルハイビジョンで放送されているひとつの番組を、３つのチャンネルに分割して、関連した３つの番組として放送するサービス。画質は、標準テレビ放送同等の画質になります。



●雨の日の受信も安心、降雨対応放送

激しい雨や雪などによって、BSデジタル放送の映像や音質が劣化する場合にそなえて、同じ番組が、降雨に強い方式（静止画等）でも並行して送られています。
悪天候で衛星からの電波が弱くなると、自動的に降雨対応放送に切り替わるチャンネルがあります。

110 度 CS デジタル放送･･･多数の専門チャンネルが魅力

110 度 CS デジタル放送は、スポーツ・音楽・映画などの専門チャンネルが多いのが特長です。CS1 に「プラットワン」、CS2 に「スカイパーフェクTV！2」という 2 つの放送局が運営しています。有料放送が中心なので、毎月の基本料金と、見たい番組の料金が必要になります。

110 度 CS デジタル放送用の衛星は、BS デジタル放送用と同じ軌道上にあります。そのため、BS デジタル・110 度 CS デジタル共用のアンテナを用意すれば、1 台のアンテナで両放送を受信することができます。

BS デジタル放送と同じようにデータ放送、番組表もあります。

※ ep サービスには対応していません。

このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
CD/DVDドライブ	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブのことを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
「ぱそガイド」	電子マニュアル「ぱそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ぱそガイド」はデスクトップの をダブルクリックして起動します。
「ぱそガイド」ー「アプリケーションの紹介と説明」	「ぱそガイド」を起動して、アプリケーションの操作方法などを参照することを示します。アプリケーションの名称がわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
TV モデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
BS モデル	TV モデルのなかでBS・110 度CS デジタルチューナーボードを搭載しているモデルのことです。テレビ／地上波データ放送のほかに、BS・110 度CS デジタル放送を楽しむことができます。

型名	型番	表記の区分			
		CD/DVDドライブ	ディスプレイ	TV機能	シリーズ
VT970/6D	PC-VT9706D	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル	液晶ディスプレイセットモデル (TVチューナ内蔵17.5型ワイド液晶)	BSモデル・TVモデル (リモコン添付)	VALUESTAR Tシリーズ

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows 、Windows XP 、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows 、Windows XP 、Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
WinDVD 4	InterVideo® WinDVD® 4 for NEC
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter® 2 for NEC
DVD- MovieAlbum	DVD- MovieAlbumSE Ver.3
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic
bitcast browser	bitcast brower Ver.3.0
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2003

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Professionalおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
（10） 本製品の修理の際、故障内容により、内蔵ハードディスクおよびDVD等のメディアに保存した番組データが再生できなくなったり、修理に時間がかかる場合がありますので、予めご了承ください。
（11） この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
（12） この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のPPV（ペイ・パー・ビュー）での使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、Officeロゴおよびwindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
bitcastおよびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。
Ulead、VideoStudioは、Ulead Systems,Inc.の登録商標です。
VERITAS RecordNow DXは、米国VERITAS Software Corp.の米国における登録商標です。
SmartVision、FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2003
日本電気株式会社、NEC カスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

※1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

853-810601-112-A
2003年5月　初版

目次 CONTENTS

BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送を楽しもう .....（巻頭）

このマニュアルの表記について ii

PART 1

接続と準備 1

接続する前の準備 2

用意するもの 2
ケーブルテレビで BS・110 度 CS デジタル放送を見るときの注意 .. 3
電話回線に接続していることを確認する 3

アンテナ線を接続する 4

IC カード BOX を接続する 5

IC カード BOX を接続する 5
B-CAS カードを挿入する 6
B-CAS カードの登録を行う 7

Windows のパスワードを設定する 8

BS・110 度 CS デジタル放送を見るための準備 12

Norton AntiVirus の設定を変更する 12
SmartVision BS を起動する 16
地域の設定をする 17
アンテナの設定をする 18
SmartVision BS にパスワードを設定する 20

PART 2

番組を見る 21

画面を操作する 22

SmartVision BS の起動と終了 22
画面を切り替える 23
BS/CS1/CS2/ 録画番組を見る 26
タイムシフトモードとライブモードを切り替える 27
タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする 27

チャンネルを切り替える 29
チャンネルコントロールで切り替える 29
キーボードやリモコンで切り替える 30
番組表を使って切り替える 32
音量を調節する 33
音声コントロールで調節する 33
ディスプレイ、キーボード、リモコンで調節する 33
データ放送を見る 35
データ放送とは 35
データ放送の画面操作について 36
データ放送を見るときの注意 37
その他の番組サービスについて 38
ラジオ放送を聴く 38
有料放送を見る 38
字幕や文字スーパーを表示する 39
映像や音声を切り替える 39

PART 3

録画と再生をする 41

番組を録画 / 再生する 42
録画について 42
見ている番組を録画する 43
巻き戻して録画する 45
録画しながら再生する 46
録画を中断する 46
録画予約する 46
VIDEO リストから選んで再生する 47
録画した番組データを利用する 48
エクスポートする 48
RecordNow DX を使って DVD に保存する 50
DVD に保存した番組を SmartVision BS で再生する 53
ビデオテープへ保存する 55

目次 CONTENTS

PART 4

番組表から視聴 / 録画予約する 57

番組表を使う 58

番組表を見る 58
番組表を受信する 60

番組を予約する 61

番組表を使って予約する 61
番組を検索して予約する 64
予約するときの注意 65
予約の確認や変更をする 66
予約した録画が成功したか確認する 68

PART 5

SmartVision BS Q&A 69

テレビがうまく見られないときには 70

SmartVision BS が起動できない 70
テレビが映らない 70
エクスポートした録画番組を再生すると
コマ落ちして正常に表示できない 71
音が出ない、音が大きすぎる 71
録画ができない 72

視聴予約や録画予約ができないときには 73

予約設定ができない 73
録画予約した番組が録画されていない 73
VIDEO リストに録画した番組が見あたらない 74

データ放送 / 番組表などの受信がうまくいかないときには 75

受信できない 75
データ放送が表示できない 76

索　引 77

PART

1

接続と準備

アンテナやICカードBOXなどの接続と、BS・110度CSデジタル放送を見るための準備をしましょう。

BS・110度CSデジタル放送を見るときは、「SmartVision BS」というアプリケーションを使います。

接続する前の準備

接続をはじめる前に必要なものを準備しておきましょう。

用意するもの

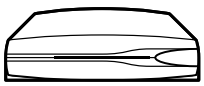
次のものをご用意ください。

●このパソコンに添付されているもの

BS デジタル放送用の添付品箱に入っています

□ IC カード BOX（1個）

□ VIDEO 変換コネクタ（1個）
（必要に応じて使います）



本体の添付品収納箱に入っています

□ B-CAS カード（1枚）

□ 有料放送加入契約申込書・パンフレット（BS 用・110 度 CS 用）

●このパソコンに添付されていないもの

お客様でご用意ください。

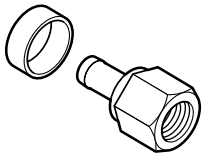
必ずご用意いただくもの

□ BS・110度CSデジタルアンテナ（共同住宅設備または、ベランダなどに設置するタイプいずれか）
□ アンテナ線

・従来のBSアンテナでは、一部BSデジタル放送を受信できないものもあります。BSデジタル放送対応アンテナを使用されることをお勧めします。
・110度CSデジタル放送をご覧になるには、対応したアンテナが必要です。また、加入契約をする必要があります。

必要に応じてご用意いただくもの

・アンテナ線の先にF型コネクタプラグが付いていない場合
□ ストレート形状のF型コネクタプラグ



・アンテナ線を分配したい場合
□ 分配器

・地上波と混合されたアンテナ線を分波したい場合
□ 分波器

・ビデオデッキを接続する場合
□ 音声用ケーブル（ステレオミニプラグ - ピンプラグ× 2）
□ S映像用ケーブルまたは映像用ケーブル

・その他の機器を接続する場合
□ 接続する機器の入出力端子に適応したケーブル（必要本数）

その他の機器のケーブルは、機器に添付されている場合もあります。接続する機器のマニュアルをご覧ください。

ケーブルテレビでBS・110度CSデジタル放送を見るときの注意

ケーブルテレビからBS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうかは、ケーブルテレビ事業者によって異なります。加入しているケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

電話回線に接続していることを確認する

有料放送の料金や双方向サービスに関する情報などは、電話回線を使って送信します。パソコンと電話回線が接続されているか確認してください。電話回線との接続方法については、『パソコン機能ガイド』PART2の「モジュラーコネクタ」をご覧ください。
ISDN回線をご利用の方は、ISDN回線接続に加えて、このパソコンとターミナルアダプタのアナログポートを接続しておいてください。

チェック!!

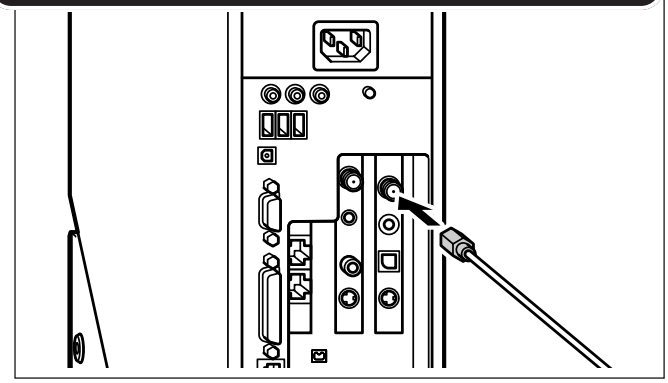
SmartVision BSの使用中は、必ず電話回線をモデムに接続しておいてください。なお、回線使用中は、電話の接続先によって電話料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

アンテナ線を接続する

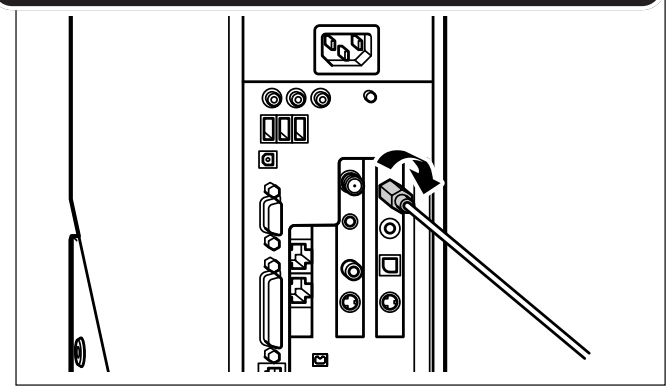
パソコン本体背面のBS・110度CSデジタルチューナボードにアンテナ線を接続します。

1 パソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをすべて外す

2 本体背面のBS/CSアンテナ端子（）にアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む



3 F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する



チェック!!

ご購入時は、BS・110度CSデジタルチューナボードからアンテナのコンバーターへの電源供給は「供給しない」に設定されています。
BS・110度CSデジタルチューナボードとアンテナを直接接続する場合は「+15V供給」に設定してください（p.19）。

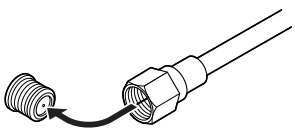
チェック!!

- BS・110度CSデジタルアンテナ、アンテナ線はこのパソコンには添付されていません。お近くの電器店などでお買い求めください。
- アンテナ線を分配したい場合は、分配器が必要になります。

参照

アンテナ線にF型コネクタプラグを取り付ける方法→『TVモデルガイド』PART1の「アンテナ線を接続する」

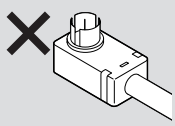
BS/CSアンテナ端子中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。



金属線が曲がっているときは、まっすぐに直してください。

金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

チェック!!



この形状のプラグをパソコン側のコネクタに取り付けることはできません。ノイズの影響を受けやすくなり、正常に受信できないことがあります。

ICカードBOXを接続する

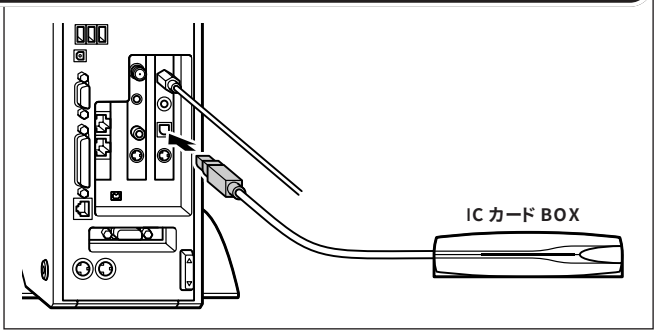
本体背面のBS・110度CSデジタルチューナボードにICカードBOXを接続し、B-CASカードを挿入します。B-CASカードはBS・110度CSデジタル放送の有料番組を見たり、双方向サービスを利用するときに使用されるカードです。

チェック!!

ICカードBOXは、常に接続しておいてください。

ICカードBOXを接続する

1 ICカードBOXの背面から出ている接続ケーブルを、本体背面のICカードBOX接続端子（⊡）に接続する

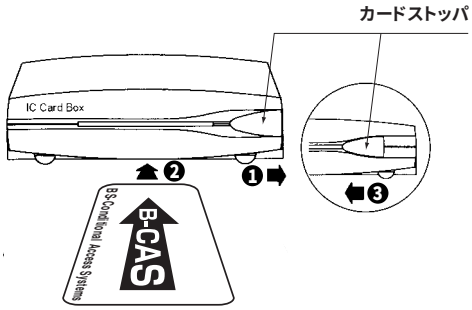


B-CAS カードを挿入する

1. ICカードBOXのカードストッパを右側にスライドさせ、ロックを解除する

2. 絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印と挿入方向を合わせ、奥までしっかりと押し込む

3. ICカードBOXのカードストッパを左側にスライドさせ、ロックする



チェック!!

- このパソコン専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- B-CAS カードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
  - 裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
  - 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけないでください。
  - 上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
  - ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
  - 分解・加工しないでください。
- 裏向きや逆方向から B-CAS カードを挿入しないでください。挿入方向を間違うと、B-CAS カードが機能せず、有料放送を視聴できません。
- B-CAS カードは、常時挿したままにしておいてください。抜く場合は、先にパソコンの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後に、B-CAS カードを抜いてください。

B-CAS カードの登録を行う

B-CAS カードは、BS・110 度 CS デジタル放送で有料番組を見たり、双方向サービスを利用するときに必要なカードです。サービスを受けられるようにするには、B-CAS カードのユーザー登録が必要です。B-CAS カードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○をつけることをおすすめします。詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

- B-CAS カードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。
- カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。
- 「ユーザー登録ハガキ」の期限が切れていても、そのまま投函できます。
- 有料放送を見るには、各放送局との契約が必要となります。詳細については、添付の申し込み案内をご覧ください。

用語

限定受信システム（CAS：Conditional Access System）

有料放送の契約をしたお客様に限って、番組の視聴ができるようにするシステムです。

Windows のパスワードを設定する

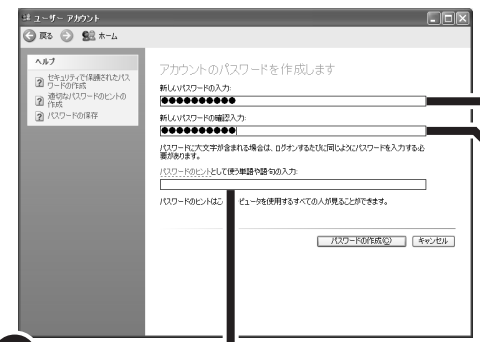
SmartVision BSを利用するために、ユーザーアカウントのパスワードを設定します。また、省電力状態からの復帰時にパスワード確認の画面を表示しないように設定を変更する必要があります。

● Windows のログオン時のパスワードを設定する

すでに設定している場合は、この操作は不要ですので、次ページの「スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する」に進んでください。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする
2. 「ユーザー アカウント」をクリックする
3. パスワードを設定するアカウント（ユーザー名）をクリックする
4. 「パスワードを作成する」をクリックする

↓ ユーザーアカウント画面が表示される



5. パスワードを入力する
6. 手順5で入力したパスワードと同じパスワードを入力する
7. 必要に応じて、パスワードを思い出すときにヒントになる単語や語句を入力する

チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーについてこの設定を行ってください。

8 「パスワードの作成」をクリックする

9 「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリックする

10 「ユーザー アカウント」の画面を閉じる

●スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

この設定を変更する場合は、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者の権限をもったユーザーでログオンしてください。制限ユーザーでは設定を変更できません。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする

3 「電源オプション」をクリックする

↓ 電源オプションのプロパティ画面が表示される

4 「詳細設定」タブをクリックする

↓ 詳細設定画面が表示される

チェック!!

SmartVision BSの設定ウィンドウで「ログオンパスワード」を入力するとき、ここで作成したパスワードの入力が求められます（p.20）。
パスワードが間違っていると、録画予約などの機能が使えません。必要であれば、忘れないようにメモしておいてください。メモしたパスワードは、ほかの人に知られないように保管してください。

5 ☑(オン)になっている場合は、クリックして☐(オフ)にする

6 「OK」をクリックする

7 「パフォーマンスとメンテナンス」を閉じる

制限ユーザーまたはゲストアカウントでログオンしている場合は、手順5で設定を変更できません(アクセス権限など)。管理者権限をもったユーザーでログオンしたときに設定をオフにしていれば、この設定が有効になります。

●スクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

スクリーンセーバーを表示する設定になっている場合は、次の手順で、復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする
2. 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする
3. 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする

↓ 画面のプロパティが表示される

4. ☑(オン)になっている場合は、クリックして☐(オフ)にする
5. 「OK」をクリックする
6. 「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる

チェック!!

パソコンを複数のユーザーでお使いの場合は、「パスワードによる保護」が「再開時にようこそ画面に戻る」となっています。同じように、オフにしてください。

BS・110度CSデジタル放送を見るための準備

必要な機器との接続が完了したら、SmartVision BSで番組を見るための準備をします。

Norton AntiVirusの設定を変更する

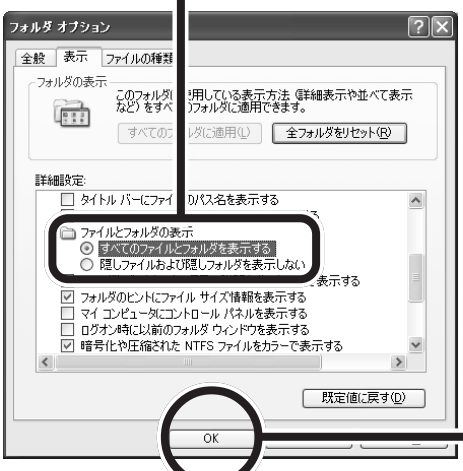
SmartVision BSの映像を快適に見られるようにするために、Norton AntiVirusの設定を変更します。

●フォルダの表示を変更する

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「フォルダオプション」をクリックする
「フォルダオプション」画面が表示されます。

2 「表示」タブをクリックする

3 「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」で、「すべてのファイルとフォルダを表示する」をクリックして ◉ にする



4 「OK」をクリックする

5 「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じる

チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、この操作はコンピュータの管理者の権限を持ったユーザーで行ってください（制限ユーザーでは設定できません）。
なお、ひとりのユーザーで操作をすれば、すべてのユーザーに適用されます（Guestアカウントでの動作は保証していません）。

設定を変更しない場合は、SmartVision BSを起動する前に次の設定をしてください。
画面右下の通知領域に表示されている を右クリックして、表示されるメニューから「Auto-Protectを無効にする」をクリックしてください。

SmartVision BSを終了したら、再度 を右クリックして、表示されるメニューから「Auto-Protectを有効にする」をクリックしてください。

● Norton AntiVirus の設定を変更する

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「メール・インターネット」-「トラブル防止・回避」-「Norton AntiVirus」-「このソフトを使う」をクリックする
Norton AntiVirus が起動します。

2 オプション(O) をクリックする

3 「手動スキャン」をクリックし、「除外」をクリックする

4 「新規」をクリックする

チェック!!

Norton AntiVirus をはじめて起動したときは、「Norton AntiVirus 情報ウィザード」の画面が表示されます。手順１の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作してください。この部分についての詳しい手順は、「ぱそガイド」または、Norton AntiVirusのヘルプをご覧ください。

5 をクリックする

6 「フォルダの参照」画面で、「マイコンピュータ」-「Windows XP (C:)」-「Program Files」-「NEC」-「SmartVision BS2.0」を指定して「OK」をクリックする

7 「サブフォルダも含める」が☑になっていることを確認して「OK」をクリックする

8 手順４～７を繰り返して、同じように「マイコンピュータ」-「Windows XP (C:)」-「Documents and Settings」-「All Users」-「Application Data」-「NEC」-「SmartVision BS」を除外する項目に追加する

9 「新規」をクリックする

チェック!!

以降の手順でも、この画面で「サブフォルダも含める」が☑になっていることを確認してください。

10 入力欄をクリックしてカーソル(|)を表示し、キーボードから「*.bci」と入力する

11 「OK」をクリックする

12 手順 9 ～ 11 を繰り返し、同じようにキーボードから「*.bcs」と入力して「OK」をクリックする

13 「OK」をクリックする

14 Norton AntiVirus の画面を閉じる

これで設定を変更できました。

SmartVision BS を起動する

SmartVision BS を起動するときは、次のアプリケーションを終了してください。
・地上波テレビアプリケーション（SmartVision、bitcast browser）
・地上波データ放送アプリケーション（ADAMS ナビ、もじぞう）
・VideoStudio
・WinDVD 4

1 **「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「SmartVision BS」-「このソフトを使う」をクリックする**

SmartVision BS の画面が表示されます。

起動すると、自動的に番組表の受信が開始されます。
アンテナの向きなどによってうまく受信できなかった場合、アンテナを調整した後でも受信することができます（p.18）。

チェック!!

SmartVision BS を起動するとき、地上波テレビ（SmartVision）で録画や番組表の受信を行っていると、SmartVision BSを起動できません。地上波テレビ（SmartVision）での録画や番組表の受信を取り消してください。

はじめて起動したときには、次の画面が表示されます。

次回から表示させない場合は、「次回起動時、このダイアログを表示しない。」をクリックして☑にして、「OK」をクリックしてください。

チェック!!

SmartVision BS 起動中に、別のユーザーで地上波テレビや地上波データ放送アプリケーションを起動しないでください。
動作が遅くなったり、画面が乱れる場合があります。

SmartVision BSを利用できる解像度と表示色は「1,024 × 768 ピクセル、65,536 色（High Color）以上」です。

チェック!!

SmartVision BSは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision BS」-「SmartVision BS」から起動することもできます。

地域の設定をする

はじめて起動したときには次のような初期設定画面が表示されます。

1 居住地域の郵便番号を入力する
以後番組を受信するときに、番組によっては入力した郵便番号の地域のデータ（天気など）が自動的に表示されるようになります。

2 居住する都道府県名を一覧の中から選択する

3 「OK」をクリックする

次に、接続したアンテナが良好な状態で受信できるようにします。

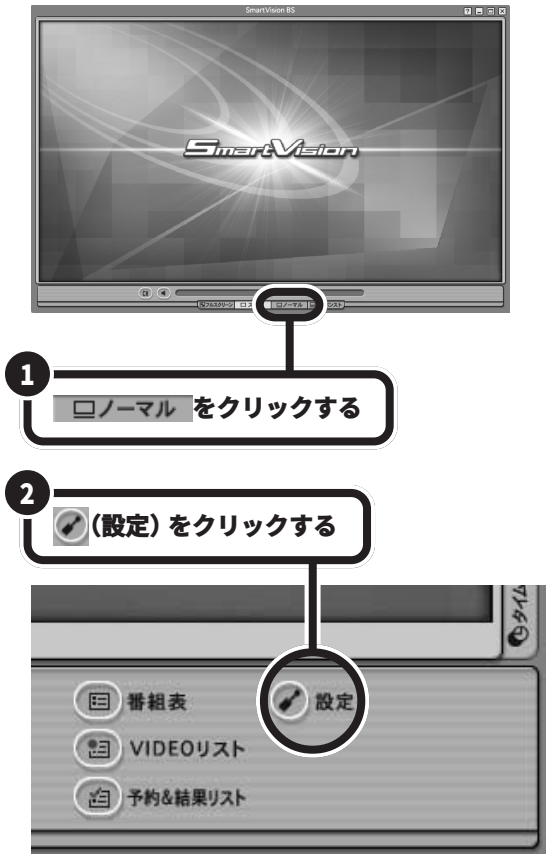
あとから設定し直す場合は、設定ウィンドウの「個人情報」-「住所」タブで再設定できます。

参照

地域の再設定をする→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」-「個人情報」-「住所の設定をする」

アンテナの設定をする

「アンテナ電源」の設定と「受信レベル」の調整を行います。



3 **設定ウィンドウの「BS/CS 詳細」アイコンをクリックし、「受信設定」タブをクリックする**

4 **アンテナ電源を選択する**

- BS・110度CSデジタルチューナボードとBSアンテナを直接接続している場合は、「+15V供給」に設定します。
- マンションなどの共聴アンテナを使用している場合や、ブースターなどの別の機器から電源が供給されている場合は、「供給しない」に設定します。
- 「+11V供給」は将来使用する場合がありますが、通常は使用しません。

5 **「適用」をクリックする**

続いて、アンテナの受信レベルを調整します。

6 **アンテナの向きを調整する**

アンテナの向きを調整していくと受信状態に「受信レベル：中」あるいは「受信レベル：高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調整して、アンテナを固定します。

7 **「OK」をクリックする**

チェック!!

- ご購入時は、アンテナ電源が「供給しない」に設定されています。
- 「初期受信周波数」は通常、変更の必要がありません。

チェック!!

受信レベルについては、目安として65以上になるように調整してください。アンテナの受信レベルは、初期受信周波数・天候・季節・受信している地域（アンテナの設置場所）などによって異なります。

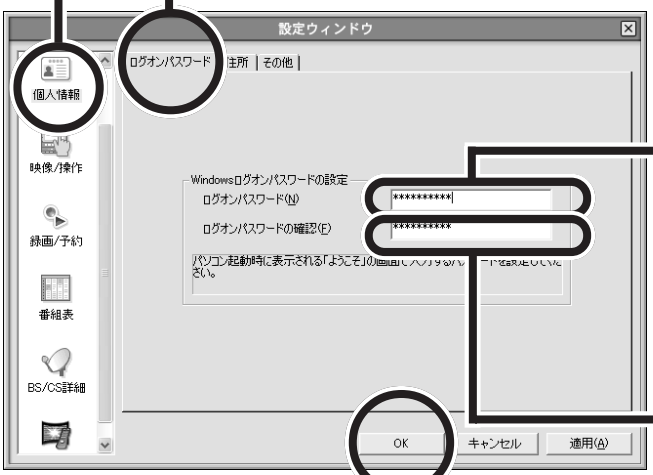
「音を鳴らす」をチェックすると、現在の受信レベルが「53」以上で音が鳴ります。

SmartVision BS にパスワードを設定する

SmartVision BS で番組の視聴/録画予約をするには、Windows で設定しているログオンパスワードと同じパスワード（p.8）を設定しておく必要があります。

1 （設定）をクリックする

2 設定ウィンドウの「個人情報」アイコンをクリックし、「ログオンパスワード」タブをクリックする



3 「ログオンパスワード」の入力欄に、ユーザーアカウントのパスワードを入力する

4 「ログオンパスワードの確認」の欄に、もう一度同じパスワードを入力する

5 「OK」をクリックする

以上で、BS・110 度 CS デジタル放送を見るための準備ができました。

チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーについてこの設定を行ってください。

参照

ユーザーアカウントのパスワードについて→このPARTの「Windowsのパスワードを設定する」（p.8）

PART

2

番組を見る

SmartVision BSの画面を操作して、BS・110度CSデジタル放送を見てみましょう。放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりもできます。また、データ放送を見ることもできます。

画面を操作する

SmartVision BS の画面を操作して、番組を見てみましょう。

⚠注意

けが注意

- **ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **VISUAL モード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。**

  ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、VISUAL モードを OFF にしてご使用ください。また、VISUAL モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。DVD 再生あるいは TV、VIDEO-CD 等をご覧いただく以外の場合は VISUAL モード OFF でのご使用をおすすめします。

VISUAL ボタンについて

VISUAL ボタンのついているディスプレイでは、ディスプレイ前面の VISUAL ボタンを押して、VISUAL モードにできます。VISUAL モードは、テレビや DVD をより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。
VISUAL モードについて詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

SmartVision BSを利用できる解像度と表示色は、「1,024×768ピクセル、65,536 色 (High Color)」以上です。

参照
解像度と表示色の設定について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「画面の設定」-「ディスプレイの設定」

SmartVision BS の起動と終了

● SmartVision BS を起動する

1. 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「SmartVision BS」-「このソフトを使う」をクリックする

画面が表示される

- リモコンの【BS/CS】ボタンを押しても起動できます。
- 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision BS」-「SmartVision BS」を選択しても起動できます。

チェック!!

SmartVision BS を起動中は、SmartVisionやbitcast browser、WinDVD 4 などを起動できません。

● SmartVision BS を終了する

1 ☒をクリックする

● SmartVision BS 受信マネージャを終了させる

1 通知領域の REC をクリックする

2 「SmartVision BS 受信マネージャ終了」をクリックする

画面を切り替える

SmartVision BS には、フルスクリーン / スリム / ノーマル / アドバンストの 4 つの画面モードがあります。
画面下にある「画面モード切り替えタブ」を使って画面を切り替えます。

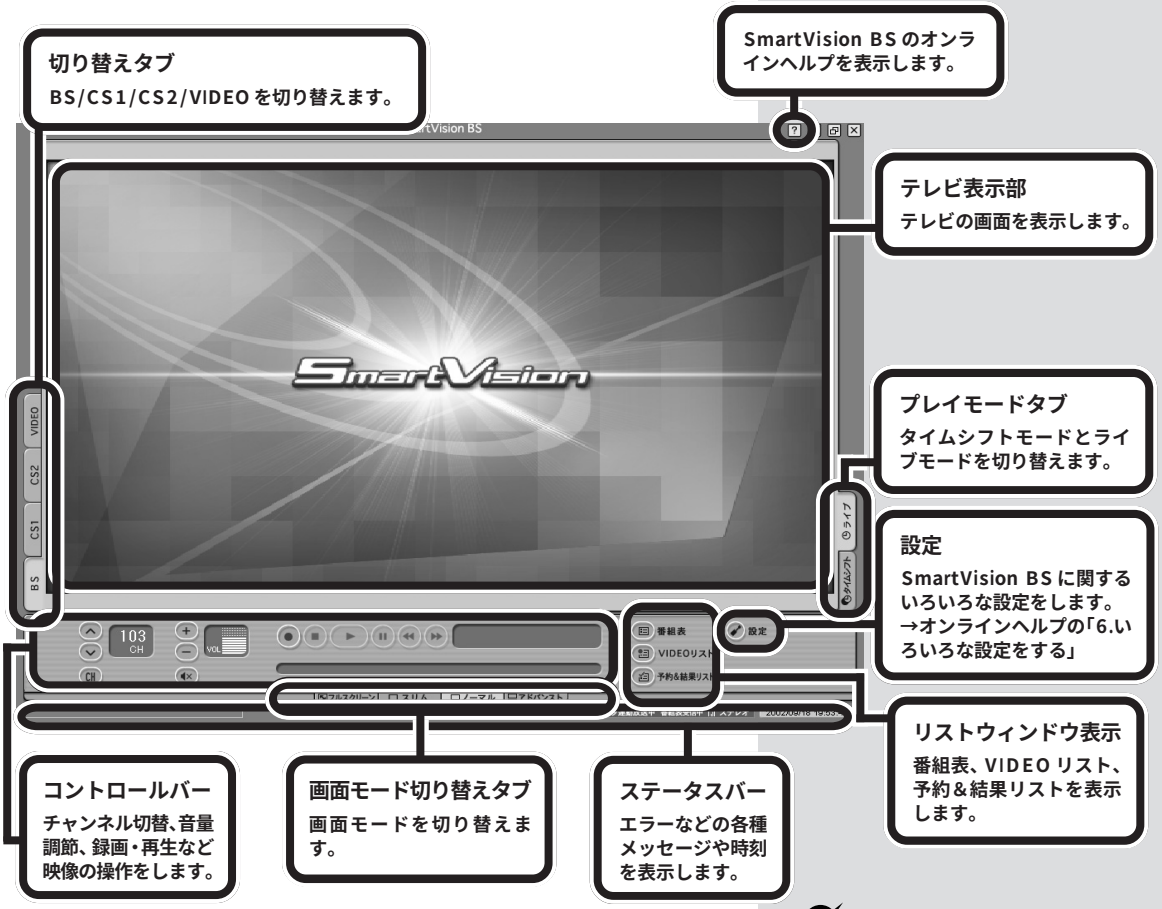
画面モード切り替えタブ

リモコンの【終了】ボタンを押しても終了できます。

チェック!!

番組の録画中にSmartVision BSを終了すると、ダイアログが、「「録画中です」本ソフトウェア終了後も録画を継続しますか。」と表示されます。「はい」を選択すると、SmartVision BS は、終了します。ただし、SmartVision BS受信マネージャは常駐して、録画を継続します。

●ノーマルモード



プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトの時間を調整できます。

録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。

ライブモード時：何も表示されません。

詳しくは、オンラインヘルプの「1.BS・110度CSデジタル放送を見る」-「4 つの画面を切り替えて使う」-「ノーマル画面」をご覧ください。

チェック!!

テレビ表示部で右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選択しクリックすることで、選択した項目の操作を実行できます。

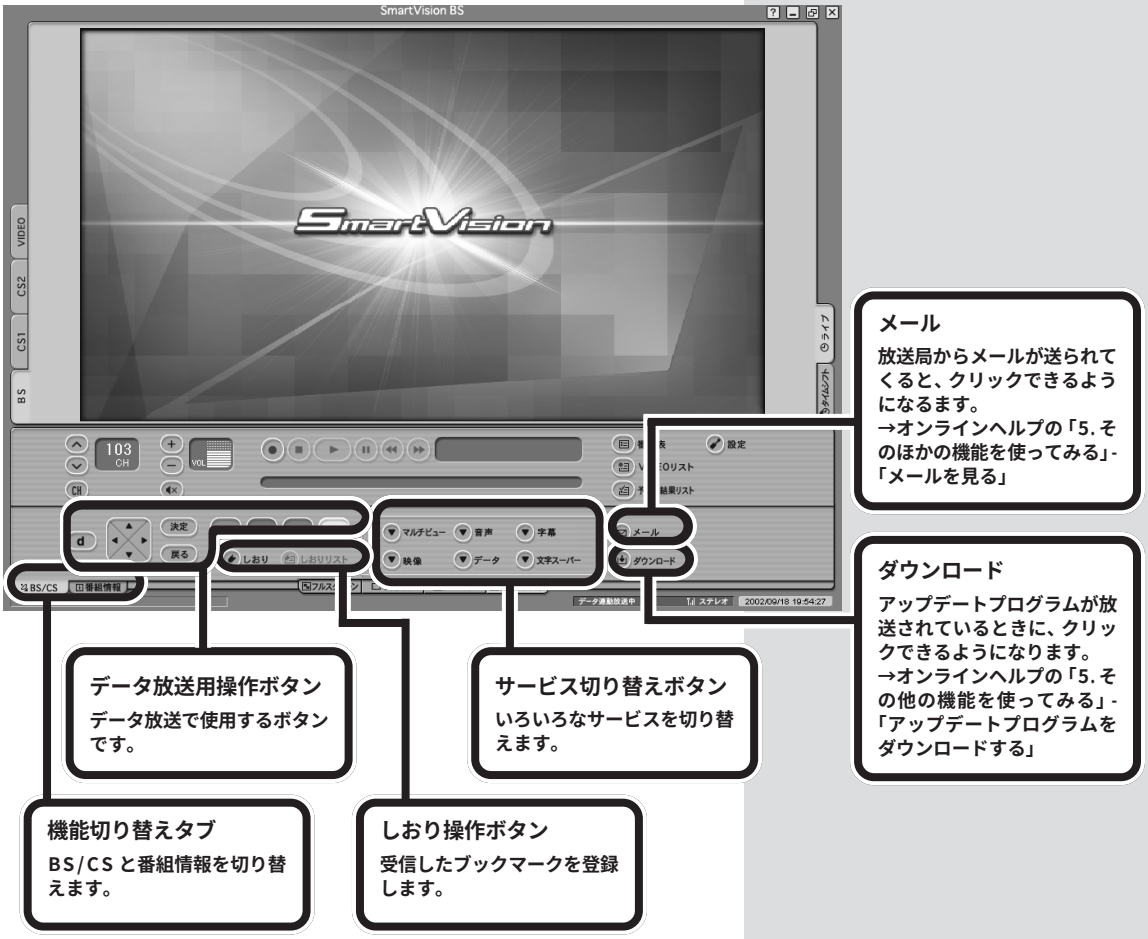
参照

- SmartVision BSの設定について→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」
- SmartVision BSの右クリックメニューについて→オンラインヘルプの「1.BS・110度CSデジタル放送を見る」

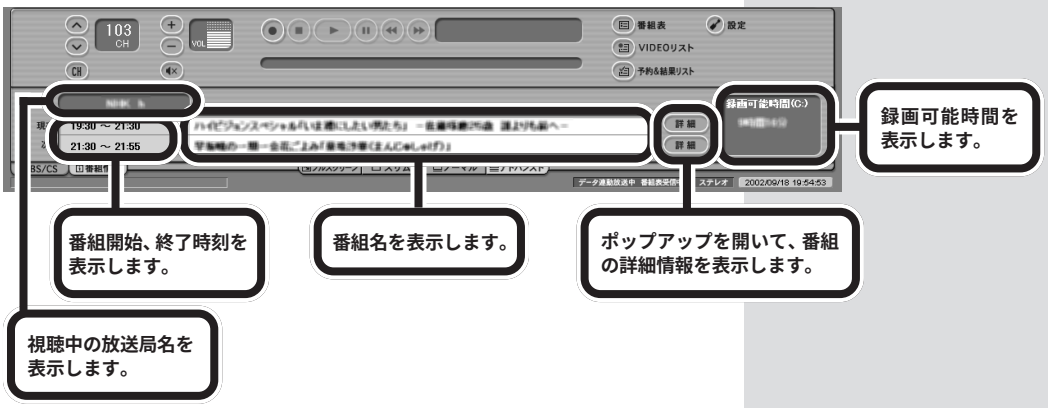
●アドバンストモード

アドバンストモードの画面の左下には、「BS/CS」と「番組情報」機能切り替えタブがあり、切り替えて操作します。

BS/CS タブ



番組情報タブ



詳しくは、オンラインヘルプの「1.BS・110度CSデジタル放送を見る」-「4 つの画面を切り替える」-「アドバンスト画面」をご覧ください。

●スリムモード

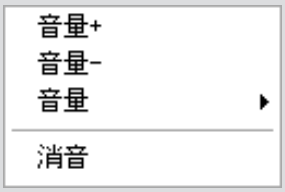
スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

詳しくは、オンラインヘルプの「1.BS・110度CSデジタル放送を見る」-「4 つの画面を切り替える」-「スリム画面」をご覧ください。

●フルスクリーンモード

ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスのボタンをクリックすると元のモードに戻ります。

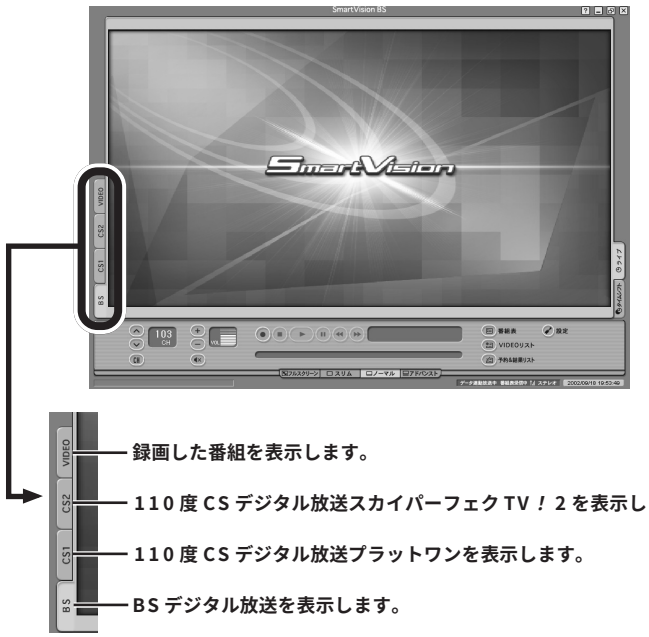
スリムモード中に をクリックすると、ボリュームコントロールメニューが表示されます。
項目を選び、クリックしてください。



- 音量 + ... 音量を 1 目盛り上げます。
- 音量− .... 音量を 1 目盛り下げます。
- 音量 ..... 音量メニューが表示されます。選択した音量に調整されます。
- 消音 ..... 音声のミュート／ミュート解除ができます。

BS/CS1/CS2/録画番組を見る

SmartVision BS では、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送（CS1、CS2）、SmartVision BSで録画した番組を見ることができます。画面左にある切り替えタブで切り替えます。



- VIDEO — 録画した番組を表示します。
- CS2 — 110 度 CS デジタル放送スカイパーフェクTV！2 を表示します。
- CS1 — 110 度 CS デジタル放送プラットワンを表示します。
- BS — BS デジタル放送を表示します。

チェック!!

110度CSデジタル放送をご覧になるには、各放送局との契約が必要です。

参照

番組の録画・再生について→「PART3　録画と再生をする」

タイムシフトモードとライブモードを切り替える

SmartVision BS で番組を見るときには、タイムシフトモードとライブモードの 2 種類のモードが選べます。
タイムシフトモードでは、見ている番組を一時停止したり、巻き戻したり、巻き戻したところから録画したりと、パソコンならではのテレビの楽しみ方ができます。
ライブモードでは、一時停止や巻き戻しはできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。
起動時は、常にライブモードに設定されています。

●タイムシフトモードとライブモードの切替方法

画面右にあるプレイモードタブで切り替えます。

参照

- タイムシフトモードとライブモードについて→『TV モデルガイド』巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」
- データ放送について→このPARTの「データ放送を見る」(p.35)

スリム／ノーマル／アドバンストモードのとき、TV表示部を右クリックすると、表示されるメニューからもライブとタイムシフトのモード切替ができます。

チェック!!

タイムシフトモードでは、データ放送やラジオ放送の画像を受信できません。

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする

●見ている番組を一時停止する

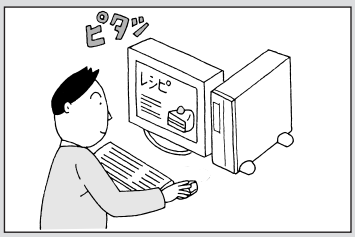
タイムシフトモード時には、今見ている番組を一時停止して、続きのシーンから再生できます。
一時停止の時間（タイムシフト可能時間）は、ご購入時の状態で 5 分に設定されています。この時間を過ぎると、自動的に再生が始まります。

使い方

料理番組のレシピやプレゼントの応募先などをメモしたいときなどに便利です。

1 コントロールバーの（一時停止）をクリックする

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい遅れているのか時間が表示されます。



参照

一時停止時間の変更について→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」-「録画 / 予約」-「タイムシフト可能時間を設定する」

スリム／ノーマル／アドバンストモードのとき、TV表示部を右クリックすると、表示されるメニューからも一時停止、巻き戻し、早送りの操作ができます。

2 **(再生) をクリックする**

一時停止をしたところから再生が始まります。

3 **リアルタイムに追いつきたいときは、(早送り) をクリックする**

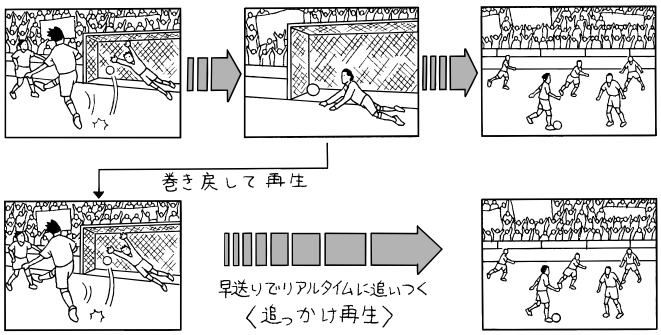
をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

●見ている番組を巻き戻して見る

タイムシフトモード時には、今見ている番組を巻き戻して見ることができます。巻き戻しシーンを見た後は、巻き戻し中のシーンも含めて、そのまま続きを見ることができます。

使い方

スポーツ番組などで今見たばかりのシーンをもう一度見たい場合などに使います。



1 **(巻き戻し) をクリックする**

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。

2 **見たい場面で、(再生)をクリックする**

3 **リアルタイムに追いつきたいときは、(早送り) をクリックする**

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

巻き戻すことができる時間は、ご購入時の状態で「5分前まで」です。最大90分まで設定できます。詳しくは、オンラインヘルプの「6.いろいろな設定をする」-「録画/予約」-「タイムシフト可能時間を設定する」をご覧ください。

チャンネルを切り替える

チャンネルを切り替えて、いろいろな番組を見てみましょう。

チャンネルコントロールで切り替える

チャンネルを切り替えるには、SmartVision BS画面の「チャンネルコントロール」を使います。

●チャンネル番号を入力する

1 103 CH をクリックする

2 **キーボードからチャンネル番号を入力する**
チャンネルが切り替わります。

●チャンネルリストから選ぶ

1 CH をクリックする
画面左の切り替えタブで選択されているソースの、チャンネル一覧が表示されます。

2 **見たいチャンネルをクリックする**
チャンネルが切り替わります。

チェック!!

- チャンネルを切り替えるときは、少し間隔をあけて操作してください。
- タイムシフトモード時は、チャンネル切り替えはできません。

チャンネルを切り替える前に、画面左にある切り替えタブ(BS/CS1/CS2)で見たい放送を選択してください。

チャンネル番号を入力してから約1秒後にチャンネルが切り替わります。

リモコンで、【選局】ボタンを押してからチャンネル番号を押しても同じようにチャンネルを切り替えられます。

参照
番組表に表示するチャンネルを設定する→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」-「番組表」-「表示/非表示チャンネルの設定をする」

チェック!!

画面左の切り替えタブで、VIDEOが選択されているときは、録画番組一覧が表示されます。

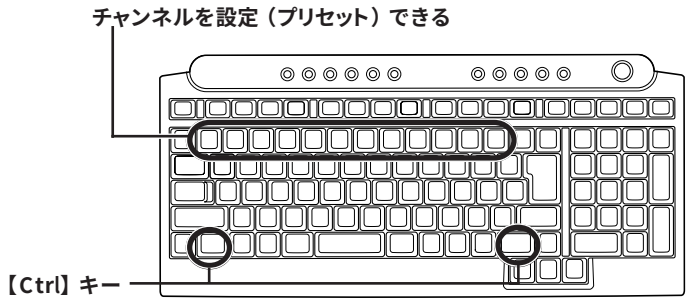
●チャンネルボタンで切り替える

をクリックすると、次のチャンネル（数字が大きいチャンネル）に切り替わります。
をクリックすると、前のチャンネル（数字が小さいチャンネル）に切り替わります。

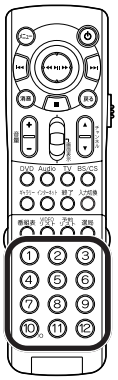
キーボードの【Ctrl】+【↑】キー/【Ctrl】+【↓】キーやリモコン【チャンネル】ボタンまたは、リモコンのチャンネルの【∧】【∨】ボタンでも同じように操作できます。

キーボードやリモコンで切り替える

キーボードの【1】～【∧】キーや、リモコンの①～⑫ボタンにチャンネルを設定（プリセット）して、チャンネルを切り替えることができます。
キーボードで操作するときは、【Ctrl】キーを押しながら、プリセットしたキーを押します。



キーボードの形状はモデルによって異なります。



添付のリモコンは、モデルによって異なります。

参照
リモコンの使い方について→「リモコン取扱説明書」

●ご購入時のプリセット設定

キーボード		リモコン	BS	CS1	CS2
Ctrl+	1	①	101CH	1CH	100CH
	2	②	102CH	999CH	110CH
	3	③	103CH	963CH	123CH
	4	④	141CH	11CH	128CH
	5	⑤	151CH	55CH	250CH
	6	⑥	161CH	900CH	160CH
	7	⑦	171CH	700CH	170CH
	8	⑧	181CH	未設定	182CH
	9	⑨	191CH	90CH	194CH
	0	⑩	200CH	未設定	190CH
	-	⑪	未設定	未設定	135CH
	^	⑫	未設定	未設定	未設定

参照
プリセット設定を変更する→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」-「プリセットチャンネル」-「プリセットチャンネルの設定を変更する」

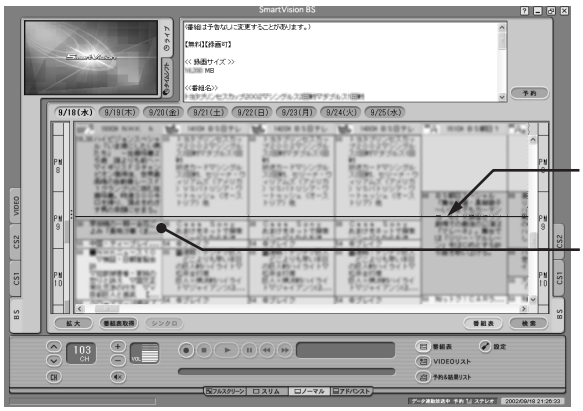
番組表を使って切り替える

衛星から受信する番組表を使って、見たい番組を表示します。

1 (番組表) をクリックする

番組表が表示される

2 見たい番組を選んでダブルクリックする



現在の時刻が青い線で表示されます。

選択しているチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

番組表の使い方について詳しくは、PART4の「番組表を使う」(p.58)をご覧ください。

・元の画面に戻すときは、もう一度 (番組表) をクリックします。
・放送開始前の番組を選んだときは、「予約設定」画面が表示されます。
→ PART4 の「番組を予約する」(p.61)

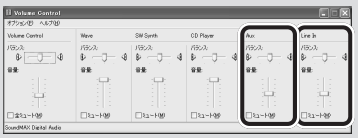
音量を調節する

パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。

音声コントロールで調節する

SmartVision BS の「音声コントロール」で音量を調節します。

SmartVision BS の音量は、Windows の「ボリュームコントロール」の「Aux」「Line In」と連動しています。

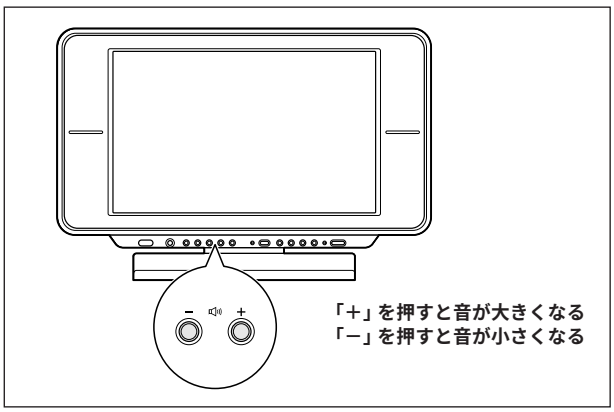


ボリュームコントロール

「Aux」は標準の状態では表示されません。表示するときは、「オプション」-「プロパティ」をクリックして、「表示するコントロール」から選択してください。

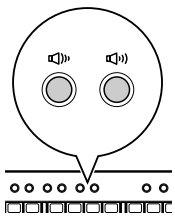
ディスプレイ、キーボード、リモコンで調節する

●ディスプレイのスピーカで音量を調節する



ディスプレイの形状は、モデルによって異なります

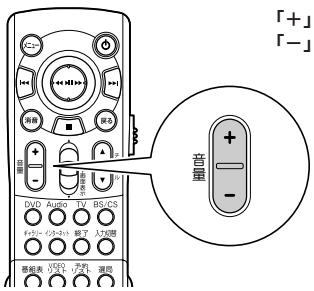
●キーボードで音量を調節する



キーボード

を押すと音が大きくなる
を押すと音が小さくなる

●リモコンで音量を調節する

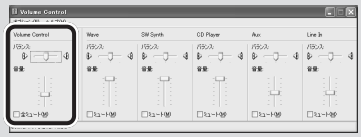


リモコン前面

「＋」を押すと音が大きくなる
「−」を押すと音が小さくなる

チェック!!

- スピーカの音量が最小になっていると、「+」を押してもスピーカからの音は大きくなりません。
- リモコンの【音量】ボタンやキーボードのボリュームボタンは、Windows の「ボリュームコントロール」の「Volume Control」と連動しています。



ボリュームコントロール

添付のリモコンは、モデルによって異なります。

参照

- リモコンの使い方について→「リモコン取扱説明書」
- ボリュームコントロールについて→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「サウンド設定」

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

データ放送とは

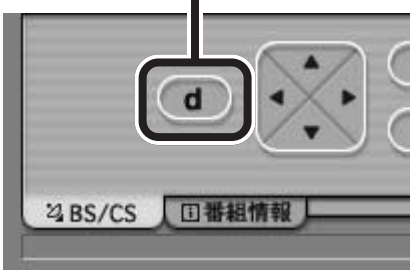
データ放送とは、文字や静止画像で構成された番組です。
番組に関連した内容を表示するデータ放送（番組連動データ放送）と、データ放送として独立した番組（独立データ放送）があります。電話回線を使って、クイズやアンケートに参加できる番組や、オンラインショッピングなどの双方向サービスが利用できます。

1 表示している番組がデータ放送かどうか確認する

データ放送の場合は、インジケータに「データ連動放送中」と表示されます。

2 アドバンストモード画面に切り替えて、BS/CS をクリックする

3 d をクリックする



データ放送画面が表示されます。

チェック!!

- データ放送を見るときは、ライブモードにしてください。
- 録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。

SmartVision BS は、日本電気（株）のフォント「FontAvenue」を使用しています。

ラジオ放送や独立データ放送では表示されません。

参照
アドバンストモード画面に切り替える→この PART の「画面を切り替える」（p.23）

アドバンストモード画面に切り替えなくても、キーボードの【D】キーやリモコンの【d】ボタンでデータ放送画面を表示することができます。

データ放送の画面操作について

データ放送は、アドバンストモード画面で操作します。

をクリックして項目を移動して、決定をクリックして選択します。画面上の項目やボタンに色が付いているものは、同じ色の をクリックして選択します。たとえば上の画面で「おみやげ」を見たい場合は を2回クリックして「おみやげ」を選択（反転表示）し、決定をクリックします。

データ放送の画面の指示にしたがって操作してください。

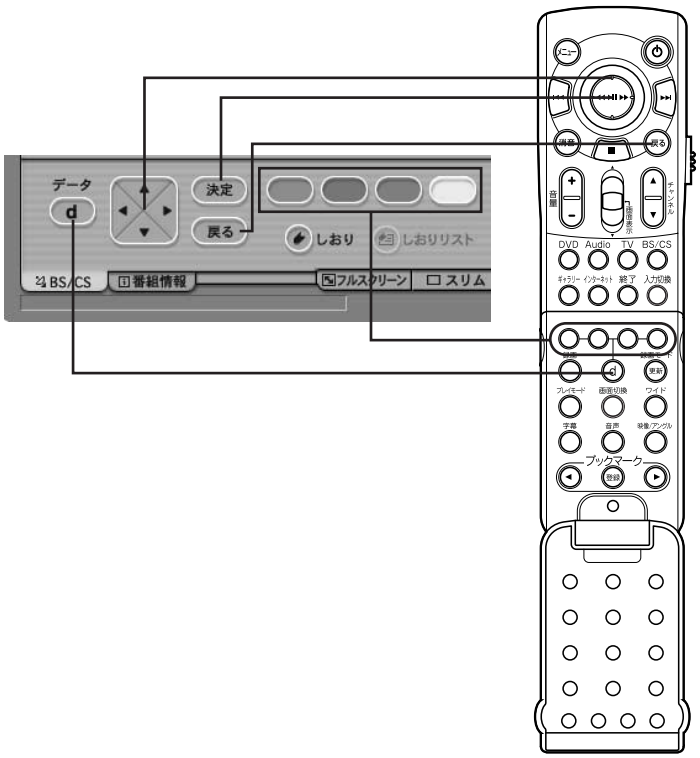
●キーボードで操作する

画面上のボタン	キーボード
	【↑】【↓】【←】【→】
	【Enter】
（青）	【B】
（赤）	【R】
（緑）	【G】
（黄）	【Y】
	【D】
	【BackSpace】
0～9 （数字入力）	【0】～【9】

チェック!!

データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。

●リモコンで操作する



添付のリモコンは、モデルによって異なります。

チェック!!

リモコンでデータ放送画面を操作するときは、リモコン右側面にある【モード切換】スイッチをカーソルモードにしてください。

参照
リモコンの使い方について→「リモコン取扱説明書」

データ放送を見るときの注意

- 録画したデータ放送番組を再生して見る場合、データ放送の一部の操作ができません。また、電話回線を使用したデータの送受信ができません。
- データ放送を見るときは、ライブモードにしてください。タイムシフトモードではデータ放送を表示できません。
  - 連動データ放送の場合、映像と音声のみになります。
  - ラジオ番組の場合、音声のみになります。
  - 独立データ放送の場合、自動的にライブモードに切り替わります。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り替えてすぐに表示されないことがあります。すべてのデータが表示されるまで、チャンネルを切り替えないようにしてください。

その他の番組サービスについて

BS・110度CSデジタル放送には、有料放送、字幕放送などいろいろなサービスがあります。

ラジオ放送を聴く

BS・110度CSデジタル放送では、テレビ番組だけでなくラジオ番組も放送されています。番組表からラジオ放送局の番組を選んでダブルクリックしてください。
番組によっては、映像もいっしょに楽しめます。

映像が表示される番組の場合、表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。また、タイムシフトモードでは、ラジオ放送の映像を受信することができません。ラジオ放送の映像は、ライブモードで視聴してください。

有料放送を見る

BSデジタル放送では、WOWOWやスターチャンネルなどが有料放送を行っています。110度CSデジタル放送では、プラットワン（CS1）とスカイパーフェクTV！2（CS2）がサービスを行っており、毎月の基本料金と、チャンネルパック月額視聴料金を支払う必要があります。有料放送を受信するためには別途契約が必要です（すでに契約済みの場合は不要です）。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。

● PPV（ペイ・パー・ビュー）を見る

PPV（ペイ・パー・ビュー）は、番組単位で購入ができる有料番組のことです。PPV（ペイ・パー・ビュー）の番組を選んだときは、番組購入確認の画面が表示されます。
録画できる番組の場合は「録画購入する」、「購入しない」のどちらかを選択してください。
録画不可の番組の場合は「視聴購入する」、「購入しない」のどちらかを選択してください。
PPV（ペイ・パー・ビュー）のうち有料（追加料金）で録画できる番組の場合は、番組購入確認の画面が表示されます。
「視聴購入する」、「録画購入する」、「購入しない」のいずれかを選択してください。

詳しくは、オンラインヘルプの「1.BS・110度CSデジタル放送を見る」-「テレビ番組・ラジオ番組を見る」-「PPV（ペイ・パー・ビュー）を見る」をご覧ください。

チェック!!

- PPV（ペイ・パー・ビュー）はライブモードで購入してください。購入した後に、タイムシフトモードに切り替えることもできます。
- プレビュー中（番組購入前に視聴できる期間）に番組を購入しなかった場合は、プレビュー終了後映像が表示されなくなります。
- 録画可能な番組で、プレビュー期間が終わったあとも録画を続けたい場合は、プレビュー中に番組を購入してください。購入しないで録画を続けた場合、プレビュー終了後は映像のない黒画面が録画されます。

字幕や文字スーパーを表示する

見ている番組が字幕放送の場合、字幕を表示できます。また、視聴中に文字スーパーを受信した場合、文字スーパーを表示することができます。
アドバンストモードのBS/CS画面でサービス切り替えボタンをクリックして、表示された一覧から選択してください。

詳しくはオンラインヘルプの「2.BS・110度CSデジタル放送をもっと楽しむ」-「いろいろな番組サービスを利用する」-「字幕や文字スーパーを利用する」をご覧ください。

リモコンの【字幕】ボタンを押しても字幕表示を切り替えることができます。

チェック!!

- 番組に字幕や文字スーパーがない場合は、ボタンをクリックすることはできません。
- 字幕や文字スーパーは、ライブモード時のみ利用できます。

参照

字幕や文字スーパーの表示の設定→オンラインヘルプの「6.いろいろな設定をする」-「BS/CS詳細」-「文字スーパー / 字幕を表示する」

映像や音声を切り替える

見ている番組に複数の映像や音声がある場合、切り替えることができます。
アドバンストモードのBS/CS画面でサービス切り替えボタンをクリックして、表示された一覧から選択してください。

詳しくは、オンラインヘルプの「2.BS・110度CSデジタル放送をもっと楽しむ」-「いろいろな番組サービスを利用する」-「複数の映像や音声を切り替える」をご覧ください。

リモコンの【音声】ボタン、【映像】ボタンを押しても切り替えることができます。

チェック!!

番組に複数の映像や音声がない場合は、ボタンをクリックすることはできません。

PART

3

録画と再生をする

「SmartVision BS」では、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送をパソコンのハードディスクに録画して、いつでも見ることができます。
また、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻して録画したりもできます。これらの便利な機能を使って、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を楽しめます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

番組を録画 / 再生する

番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。取り込んだ動画はこのパソコンでいつでも再生できます。

録画について

SmartVision BS では、一般のビデオ機器や SmartVision と同じように、番組を録画できます。SmartVision BS での録画は、SmartVision と同じようにハードディスクに番組を録画しますが、SmartVision よりも多くのハードディスク容量を使います。
録画した番組はこまめに DVD-R/RW や CD-R/RW に保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

●録画するときの注意

SmartVision BSでは、SmartVisionと同じように番組を録画できます。ただし、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を録画する場合は次のような制限があります。注意してください。

- 録画できない番組がある
  一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
  番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- 録画した番組は編集できない
  SmartVision BSで録画した番組は、このパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- 他のソフトでは再生できない
  SmartVision BSで録画した番組は、SmartVision BSでのみ再生できます。他の動画再生ソフトでは再生できません。
- 他のパソコンでは再生できない
  SmartVision BSで録画した番組は、録画したパソコンのSmartVision BS でのみ再生できます。録画したパソコンと異なるパソコンでは、SmartVision BS を使っても番組は再生できません。

●録画に必要なハードディスク容量について

SmartVision BS では、録画する番組の種類によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意をしてください。
番組の種類と、録画に必要なハードディスク容量は次の通りです。

録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン	約10.8Gバイト
デジタル標準テレビ	約5.4Gバイト
独立データ放送/ラジオ	約990Mバイト

チェック!!

- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してご使用ください。
- デジタルハイビジョン番組の録画には特に多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスク容量に注意してください。
  ハードディスク容量は、「マイ コンピュータ」ウィンドウでドライブをクリックすると確認できます。

「詳細」欄にハードディスクの容量が表示されます

●録画（動画キャプチャ）の制限について

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了されます。

- 「設定ウィンドウ」-「録画 / 予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する HDD の空き容量」で設定している容量（ご購入時の状態では「900M バイト」）よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき（予約設定の画面で表示される「HDD の空き容量」には「録画を停止する HDD の空き容量」で設定した容量が含まれます）
- ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- 放送休止状態になったとき
- 番組の受信ができなくなったとき
- 番組が、録画不可属性になったとき
- 受信状態が不安定なとき

用語

キャプチャ、キャプチャする

静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容（静止画や動画など）は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

参照
ハードディスクの残り容量について→オンラインヘルプの「6. いろいろな設定をする」-「録画 / 予約」-「録画を停止する空き容量サイズを設定する」

見ている番組を録画する

1 SmartVision BS を起動する

参照
SmartVision BSの起動→PART2の「SmartVision BSの起動と終了」（p.22）

2 録画したい番組を表示する

参照
テレビ番組のチャンネル切り替え→PART2 の「チャンネルを切り替える」（p.29）

3 (録画) をクリックする

録画が始まります。
録画中は、カウンターに録画時間または録画終了までの時間が表示されます。

チェック!!

番組によっては、録画できないものや、録画しても正常に再生できないものがあります。

録画時に●を連続してクリックすると、録画する時間を次のように設定できます。

エンドレス（停止ボタンをクリックするまで）→番組終了まで※→15分→30分→60分→90分→120分→エンドレス（停止ボタンをクリックするまで）→…

※番組表を受信していない場合はエンドレスとなります

カウンターをクリックすると次のように録画時間表示が変わります。（エンドレスで録画している場合を除く）

4 「エンドレス」で録画している場合、録画を終了するときは■（停止）をクリックする

録画した番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。

録画した番組の名称は、次のルールで決定されます。

- 番組表のデータがある場合
  番組表の「番組情報」欄の《番組名》に表示されている番組名称がそのまま使われます。
- 番組表のデータがない場合
  「なし」となります。

参照

- 録画した番組を再生するときは→このPARTの「VIDEOリストから選んで再生する」（p.47）
- 録画終了を待たずに再生するときは→この PART の「録画しながら再生する」（p.46）
- 録画に必要なハードディスク容量について→この PART の「録画について」（p.42）
- 番組表を受信する→ PART4 の「番組表を受信する」（p.60）

巻き戻して録画する

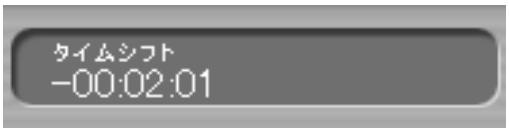
視聴中の番組を巻き戻して録画できます。
SmartVision BS のタイムシフトモードでは、見ている番組を録画していないときでも、一定時間の番組データをパソコンのハードディスクに書き込んでいます。書き込まれた番組データを巻き戻して録画保存します。巻き戻せる時間は、1 分～ 90 分の間で設定できます（ご購入時の状態では 5 分です）。

使い方

番組をしばらく見ていて、「さっきのシーンから録画しておけばよかった」というときに利用します。
また、「ここから録ろう」というとき、すぐに録画ボタンをクリックしても若干の誤差で録画されない部分が出るため、通常の録画のときも巻き戻してから録画すると確実です。

1 **（巻き戻し）をクリックする**

カウンターに、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。



2 **（再生）をクリックする**

3 **録画を開始したい場面で、（録画）をクリックする**

録画開始時および録画中に を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。設定できる時間については、このPARTの「見ている番組を録画する」(p.43)をご覧ください。

4 **リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする**

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

5 **録画を終了するときは、（停止）をクリックする**

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

チェック!!

- 巻き戻し録画は、あらかじめタイムシフトモードになっていないとご使用になれません。
- 巻き戻せるのは、それまでタイムシフトモードで見ていた番組に限ります。それまで受信していなかった番組や、ライブモードで受信していた番組を巻き戻して録画することはできません。
- タイムシフトモードで巻き戻し中に進行しているシーンもカットされることなく、録画できます。
- タイムシフトモードでは、連動データ放送やラジオ放送のデータ放送は録画できません。

チェック!!

- タイムシフトでさかのぼって録画する場合、それまですでにハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時に行われています。そのため、たとえば、5 分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されるので、ハードディスクの空き容量にご注意ください。
- 番組によっては、タイムシフト視聴も録画もできない番組や、タイムシフト視聴はできても録画はできない番組などがあります。各番組の詳細については、番組表の「番組情報」で確認できます。

録画しながら再生する

タイムシフトモードで録画している最中に、すでに撮ったシーンを巻き戻して再生することができます。早送り再生をして、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

1 録画中に（巻き戻し）をクリックする

2 （再生）をクリックする

巻き戻したところから再生が始まります。

3 リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

チェック!!

予約録画は、必ずライブモードで実行されます。そのため、録画予約で録画しているときは巻き戻しはできません。

録画中に一時停止や再生、早送りをしても録画は中断されないでそのまま続行されています。

録画を中断する

使い方

録画中に、以降の録画をやめたいときに使用します。

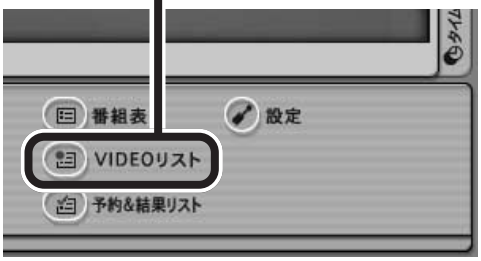
1 録画中に、（停止）をクリックする

録画予約する

「PART4 番組表から視聴 / 録画予約する」（p.57）をご覧ください。

VIDEOリストから選んで再生する

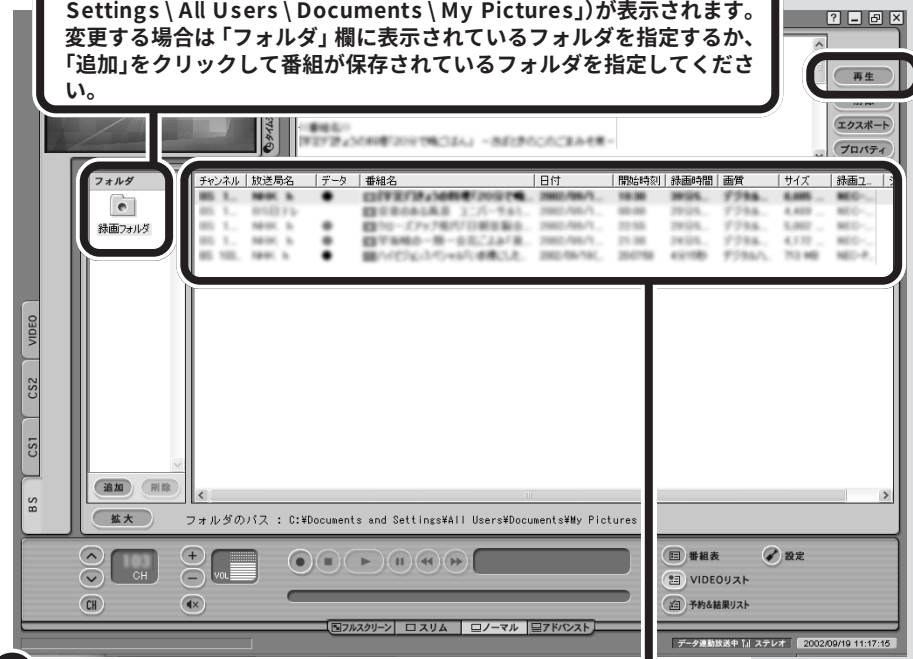
1 **(VIDEOリスト)をクリックする**



「VIDEOリスト」が表示される

2 **再生したい録画番組の保存先を指定する**

通常は、「設定」-「録画 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「録画番組保存先」で指定した保存先(ご購入時の状態では「C:\Documents and Settings\All Users\Documents\My Pictures」)が表示されます。変更する場合は「フォルダ」欄に表示されているフォルダを指定するか、「追加」をクリックして番組が保存されているフォルダを指定してください。



3 **再生したい番組をクリックする**

番組が選択され、反転表示されます。
水色で表示されている番組は、まだ一度も再生していない番組です。
番組名に「シークレット録画」と表示されている番組は、再生できません。再生する場合は、録画したユーザーでログオンしてください。

4 **(再生)をクリックする**

再生が始まります。

チェック!!

タイムシフトモードでは、VIDEOリストからの再生はできません。ライブモードに戻してから操作してください。

参照
ライブモードとタイムシフトモードについて→PART2の「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」(p.27)

参照
録画番組の保存先を変更するには→オンラインヘルプの「6.いろいろな設定をする」-「録画 / 予約」-「録画ファイルの保存先を指定する」

チェック!!

予約録画をしたのに、一覧に番組のタイトルがない場合は、「結果リスト」で予約結果を確認してください。

参照
予約結果を確認するには→PART4の「予約した録画が成功したか確認する」(p.68)

録画した番組データを利用する

録画した番組データは非常に大きいので、多くの番組を録画するとハードディスクが足りなくなることがあります。そうならないために、録画したデータを他のメディアに保存することができます。

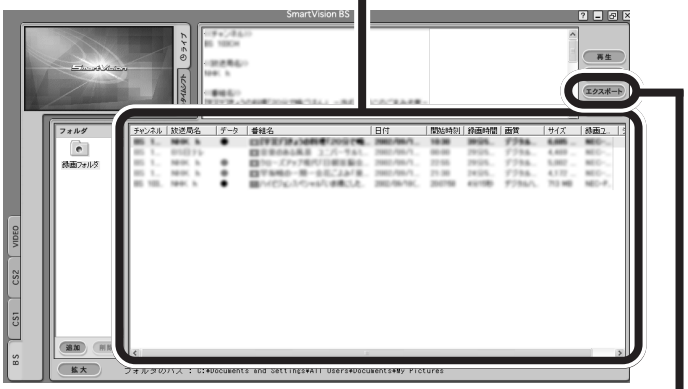
エクスポートする

エクスポート機能を使うと、録画した番組のデータを指定のフォルダに保存することができます。また、分割して保存することもできるので、DVD-R に保存するときにも便利です。
ここでは例として、約 1 時間のデジタルハイビジョン番組（約 10.8G バイト）を DVD-R に保存するためにエクスポートする手順を説明します。

1 **（VIDEO リスト）をクリックする**

「VIDEO リスト」が表示されます。

2 **エクスポート（分割して保存）したい番組をクリックして選択する**



3 **エクスポート をクリックする**

「エクスポート」ウィンドウが表示されます。

DVD-R にデータとして保存するときは、RecordNow DX などをお使いください。

参照

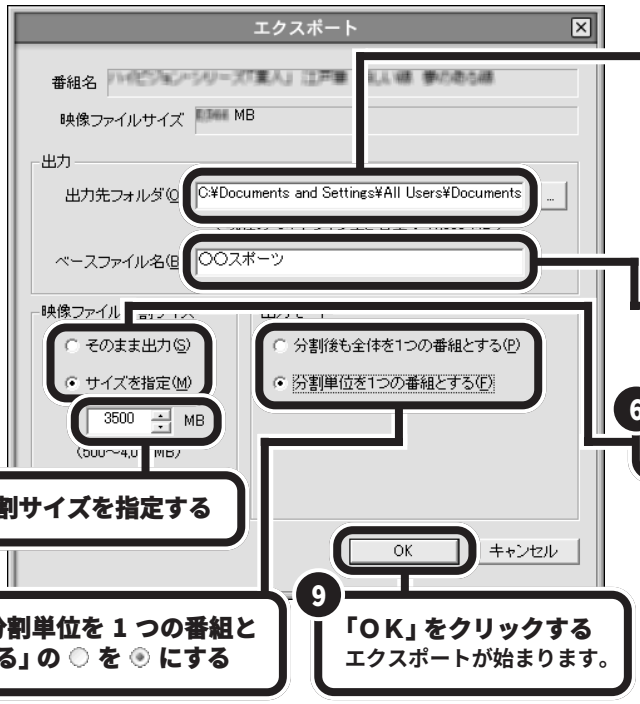
RecordNow DX について→この PART の「RecordNow DX を使って DVD に保存する」（p.50）

チェック!!

エクスポートした番組は、エクスプローラなどで録画データをダブルクリックして再生することはできません。必ず SmartVision BS の「VIDEO リスト」から再生してください。

参照

録画した番組を再生する→この PART の「VIDEO リストから選んで再生する」（p.47）、「DVD に保存した番組を SmartVision BS で再生する」（p.53）



4 **…をクリックして出力先フォルダを指定する**
ここでは例として、「マイ コンピュータ」-「Documents」を指定します。

5 **ベースファイル名（エクスポートしたファイルに付く名前）を指定する**

6 **「サイズを指定」の○を◉にする**

7 **分割サイズを指定する**

8 **「分割単位を 1 つの番組とする」の ○ を ◉ にする**

9 **「OK」をクリックする**
エクスポートが始まります。

エクスポートが終わったら、手順 4 で指定したフォルダを開いてエクスポートしたファイルを確認します。
「マイコンピュータ」-「Documents」を指定した場合は、「スタート」-「マイ コンピュータ」-「Documents」をクリックします。

エクスポートした番組は、手順 5 でつけたベースファイル名にしたがって「SmartVision BS録画番組管理情報ファイル」と番組データの入ったフォルダに分けられます。各ファイルとフォルダは次のようになっています。

エクスポートしたデータ	ファイルとフォルダの内容
＜ベースファイル名＞のファイルとフォルダ	分割した番組の先頭のデータです。
＜ベースファイル名＞001のファイルとフォルダ	分割した番組の2番目のデータです。
＜ベースファイル名＞002～のファイルとフォルダ	分割した番組の3番目以降のデータです。分割した数だけ、番号が増えます。

分割された番組は、「SmartVision BS 録画番組管理情報ファイル」と番組データの入ったフォルダの 2 つセットになります。

この例では、番組は 3 つに分割されています。最初のデータは「○○スポーツ」ファイルと「○○スポーツ」フォルダのセットに、2 番目のデータは「○○スポーツ 001」ファイルと「○○スポーツ 001」フォルダのセットに、3 番目のデータは「○○スポーツ 002」ファイルと「○○スポーツ 002」フォルダのセットになります。

チェック!!

- エクスポート機能で分割した番組を、あとで CD-R や DVD-R に保存する場合は、保存するメディアの容量に合ったサイズで分割してください。分割するファイルサイズの目安は次の通りです。
  CD-R/RW メディア（650M バイト）の場合：645 M バイト
  DVD-R/RW メディアの場合：4000M バイト
- 分割せずにそのまま出力することもできます。外付けのハードディスクなどに保存するときに便利です。

参照
番組を DVD-R に保存する→この PART の「RecordNow DX を使って DVD に保存する」(p.50)

チェック!!

- 録画ファイルは、このパソコンでのみ再生できます。他のパソコンでは再生できません。
- エクスポート実行中に録画予約が実行された場合は、エクスポートは中断されます。録画予約が終了してから、再度エクスポートを実行してください。
- エクスポート機能の詳しい使い方についてはオンラインヘルプの「3. 番組を録画・再生する」-「録画ファイルをエクスポートする」をご覧ください。

RecordNow DX を使って DVD に保存する

エクスポート機能で分割した録画番組を、DVD-R に保存できます。
ここでは例として、「エクスポートする」(p.48)でエクスポートした番組を DVD-R に保存する手順を説明します。

1 **「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「音楽」-「CD を楽しむ」-「RecordNow DX」-「このソフトを使う」をクリックする**

RecordNow DX が起動します。

2 **「データディスクの作成」をクリックする**

「新規データディスクの作成」が表示され、ディスクトレイが自動的に開きます。

3 **CD/DVD ドライブに、未使用の DVD-R メディアをセットする**

4 **「次へ」をクリックする**

5 **「フォルダとファイルを追加」をクリックする**

「追加するファイルとフォルダを選択」画面が表示されます。

チェック!!

メディアによって、保存できる容量が異なります。エクスポートをするときは、保存するメディアにあったサイズで保存してください。

参照

RecordNow DXについて→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50 音別目次」

6 「エクスポートする」の手順4、手順5（p.49）で指定した「マイ コンピュータ」-「Documents」をクリックし、ファイルを表示する

7 「〇〇スポーツ」ファイルをクリックする

「ファイル名」欄に「〇〇スポーツ.bci」と表示されます。

8 「追加」をクリックする

選択したファイルが追加されます。

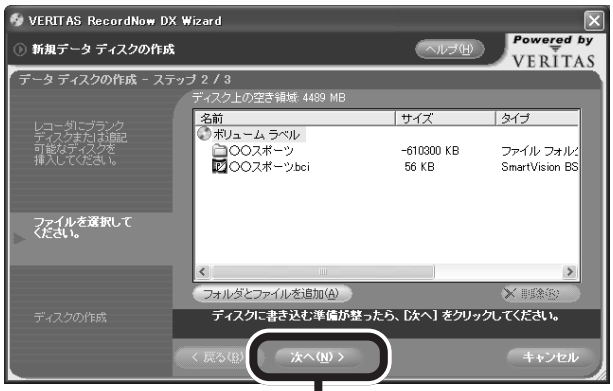
9 「フォルダとファイルを追加」をクリックし、手順6で表示したフォルダをもう一度表示する

10 「〇〇スポーツ」フォルダをクリックする

「ファイル名」欄に「〇〇スポーツ」と表示されます。

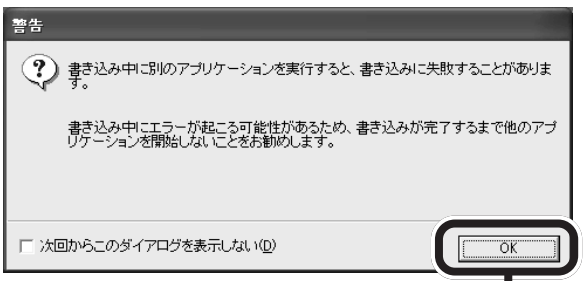
11 **「追加」をクリックする**

選択したフォルダが追加されます。



12 **「次へ」をクリックする**

次の画面が表示されます。



13 **「OK」をクリックする**

書き込みがはじまります。書き込みが終了すると、画面が表示され、ディスクトレイが自動的に開きます。

14 **ディスクトレイからメディアを取り出し、「完了」をクリックする**

15 **RecordNow DX を終了する**

これで、番組が DVD-R へ保存されました。
保存したデータの再生方法については次の「DVD-R に保存した番組を SmartVision BS で再生する」をご覧ください。

チェック!!

DVD-R に保存するときは、必ず「SmartVision BS 録画番組管理情報ファイル」と対応した番組データの入ったフォルダの両方をセットで保存してください。片方のみ保存すると、再生ができません。

DVD-R に保存した番組を SmartVision BS で再生する

DVD-Rに保存した番組を、SmartVision BSで再生する方法を説明します。

1 SmartVision BS を起動する

2 「RecordNow DX を使って DVD に保存する」(p.48)で番組を保存した DVD-R を CD/DVD ドライブにセットする

「Windows が実行する動作を選んでください」というウィンドウが表示されたときは、「何もしない」をクリックしてから「OK」をクリックしてください。

3 (VIDEO リスト) をクリックする

「VIDEO リスト」が表示されます。

4 「追加」をクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 「マイ コンピュータ」-「DVD-RAM ドライブ(:E)」をクリックする

6 「OK」をクリックする

「フォルダ」欄に「新しいフォルダ」が追加されます。

チェック!!

- SmartVision BSで録画した番組は、このパソコンでのみ再生できます。他のパソコンでは再生できません。
- 「エクスポートする」の手順 8 (p.49)で「分割後も全体を 1 つの番組とする」を選択して、複数の DVD-R メディアに保存した場合は、分割したすべてのデータを一度ハードディスクの同じフォルダに保存し直してから再生します。
- DVD に保存した番組を直接再生する場合、映像が乱れたり、スムーズに再生できない場合があります。その場合は、DVD のデータを一度ハードディスクの任意のフォルダにコピーして、そのフォルダを手順 4 ～手順 5 の操作で追加してください。

参照

SmartVision BS の起動→PART2 の「SmartVision BS の起動と終了」(p.22)

7 **フォルダに名前を入力し、【Enter】を押す**

DVD-R に保存した番組が表示されます。

8 **再生したい番組をクリックする**

9 再生 **をクリックする**

番組が再生されます。

チェック!!

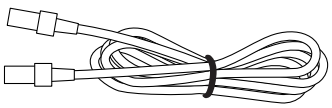
- フォルダ名は、「DVD-R」などわかりやすい名前を付けてください。フォルダ名は、フォルダを右クリックして「フォルダ名変更」をクリックするといつでも変更できます。
- プレイモードがタイムシフトモードの場合は、ライブモードに切り替えてから録画番組を再生してください。

ビデオテープへ保存する

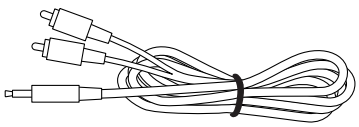
このパソコンとビデオデッキを接続して、映像を、ビデオテープなどに保存できます。

●用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル（または映像用ケーブル）と市販の音声用ケーブル（ステレオミニプラグ - ピンプラグ× 2）を使って接続します。



S 映像用ケーブル
（または映像用ケーブル）



音声用ケーブル

チェック!!

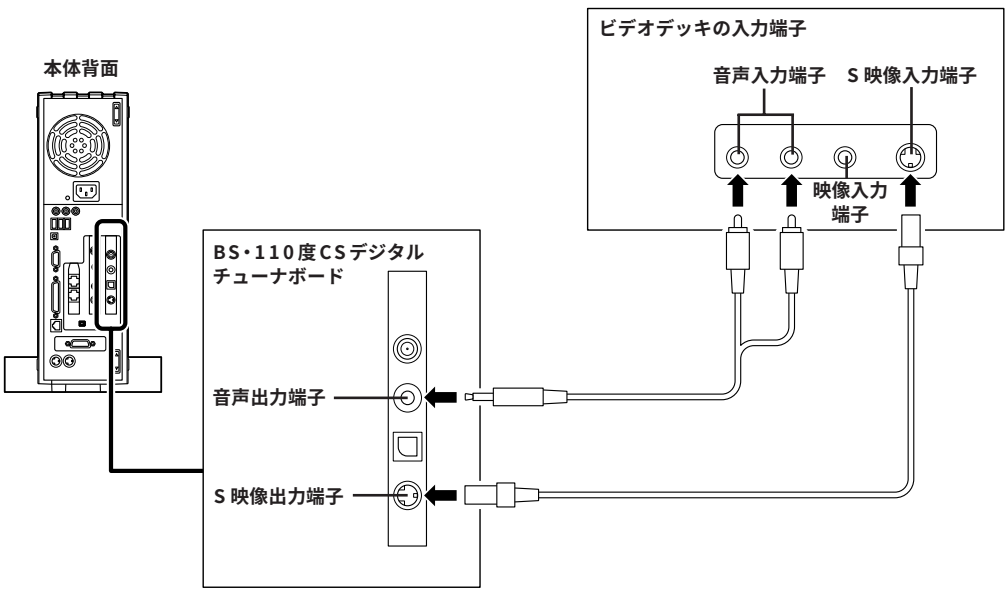
接続する機器に S 映像入力端子がついていない場合は、通常の映像用ケーブルを利用してください。詳しくは次のページの「こんなときは」をご覧ください。

●接続する

ビデオデッキの入力端子とBS・110度CSデジタルチューナボードの出力端子を接続します。
地上波TV/データボードにも同じ出力端子があるので、間違わないようにBS・110 度 CS デジタルチューナボードの端子と接続してください。

チェック!!

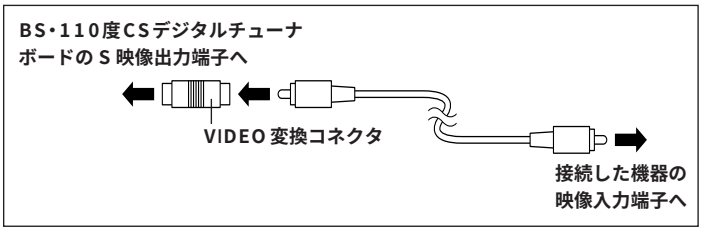
外部機器の接続について詳しくは、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。



こんなときは

S 映像入力端子のない外部機器につなぎたい

S映像用ケーブルのかわりに、市販の映像用接続ケーブルと添付の VIDEO 変換コネクタを接続して使うことができます。



VIDEO 変換コネクタ
（3 個添付されています）

●番組をビデオテープに録画する

接続したビデオデッキで、SmartVision BSで録画した映像を録画します。

1. ビデオデッキで外部入力画面の録画操作をする
2. ビデオテープに録画したい番組を SmartVision BS で再生する

番組の再生が終了したら、ビデオデッキの録画を終了してください。これで、SmartVision BSで録画した番組をビデオテープに保存できました。

チェック!!

ビデオデッキの操作については、お使いのビデオデッキのマニュアルをご覧ください。

参照

再生について→このＰＡＲＴの「VIDEOリストから選んで再生する」（p.47）

チェック!!

- ビデオテープに録画される映像は、標準テレビ放送と同レベルの画質になります。
- ビデオテープに録画した場合、本編の映像は録画されますが、データ放送の画面は録画されません。
- ビデオデッキでの録画中に、録画番組の再生やSmartVision BSを終了しないでください。

PART

4

番組表から視聴 / 録画予約する

「SmartVision BS」では、見たい番組を見のがさないように視聴予約したり、ビデオのように番組を録画予約することができます。予約は、番組表をパソコンに取り込んで、その番組表から予約できます。また、ジャンルや出演者など、いろいろな条件で番組を探すこともできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

番組表を使う

クリックすると予約もできる番組表を使ってみましょう。

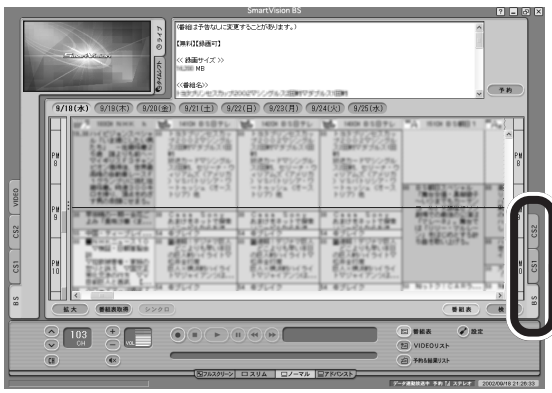
番組表を見る

SmartVision BS では、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送の番組表を受信して画面上に表示できます。表示した番組表から録画予約をしたり番組の詳細情報を見たりと便利な使い方ができます。

1 SmartVision BS を起動する

2 (番組表)をクリックする

番組表が表示される



3 「番組表切り替えタブ」で見たい番組表をクリックする

BS　：BS デジタル放送の番組表が表示されます。

CS1：110 度 CS デジタル放送プラットワンの番組表が表示されます。

CS2：110 度 CS デジタル放送スカイパーフェク TV！2 の番組表が表示されます。

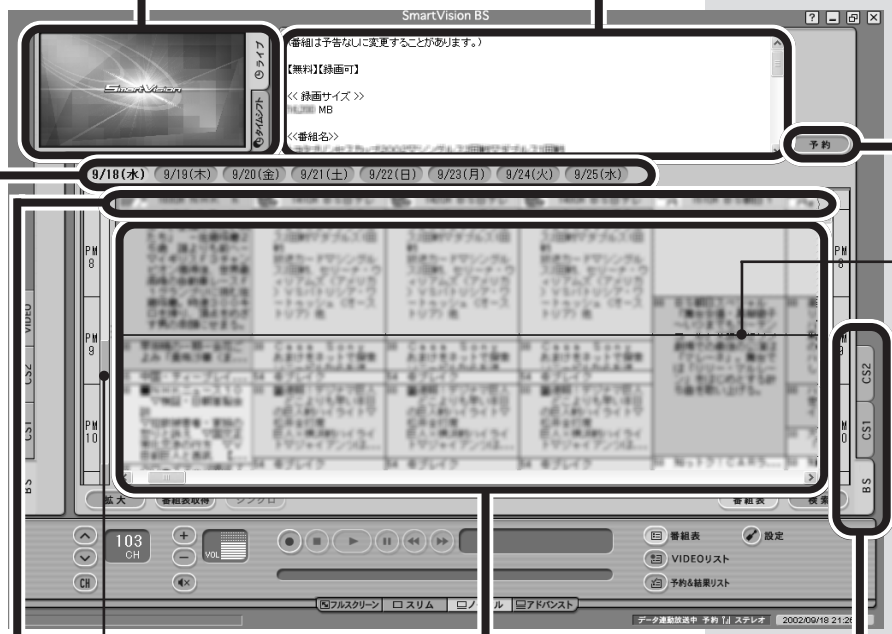
チェック!!

画面下に 番組表受信中 と点滅表示されているときは、番組表の受信中です。まだ番組表が受信できていないときは、をクリックしても、完全な番組表は表示されません。受信が終わるまでお待ちください。

●番組表の画面について

プレビュー領域
選択した番組が表示されます。

番組情報
選択した番組の詳しい情報が表示されます。



予約ボタン
クリックすると、「予約設定」画面が表示されます。

現在の時刻が青い線で表示されます。

予約している時間帯が水色の帯で表示されます。

番組表表示部
番組はジャンル別に色分けされて表示されます。番組をクリックすると、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組をダブルクリックすると、「予約設定」画面が表示されます。

チャンネル
番組表表示部の下の < > をクリックするか、 をドラッグすると表示するチャンネルを切り替えられます。
選択しているチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

番組表切り替えタブ
番組表表示部に表示する番組表の種類を変更します。各タブで表示される番組表は次の通りです
BS タブ　：BS デジタル放送
CS1 タブ：110 度 CS デジタル放送プラットワン
CS2 タブ：110 度 CS デジタル放送スカイパーフェク TV！2

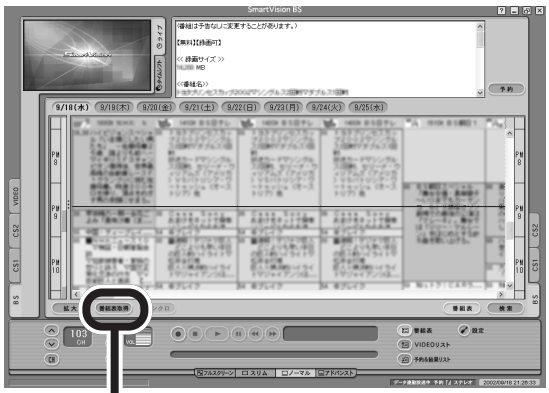
日付
クリックするとその日の番組表を表示します。

チェック!!
拡大ボタンをクリックすると、番組表を画面上すべてに広げて表示することができます。

番組表を受信する

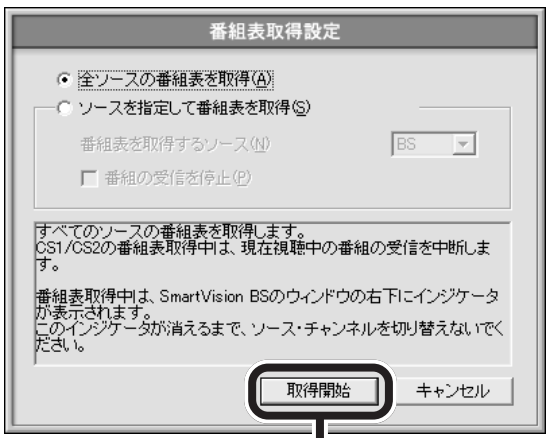
番組表は常に新しいものが放送されています。最新の番組表を取得する手順を説明します。

1 **（番組表）をクリックして、番組表を表示する**



2 **番組表取得（番組表取得）をクリックする**

次の画面が表示される



3 **「取得開始」をクリックする**

番組表の受信が始まり、画面下に「番組表受信中」と表示されます。

受信が終わると、最新の番組表が表示されます。

プレイモードがタイムシフトのときは、番組表を受信することができません。プレイモードをライブに切り替えてから、番組表を受信してください。

チェック!!

番組表の受信を中断したいときは、受信中に「番組表取得」をクリックして、表示された画面で「はい」をクリックしてください。

チェック!!

番組表を定期的に最新のものに更新するように設定することもできます。設定方法については、オンラインヘルプの「4.番組表から予約する」-「番組表を使う」-「番組表を自動で更新する」をご覧ください。

番組を予約する

番組の録画予約や視聴予約をしてみましょう。予約した時刻になると、SmartVision BSが起動して、自動的に録画や視聴が始まります。

予約する前に次のことをご確認ください。

- Windowsのログオン時のパスワードと同じパスワードをSmartVision BSに設定しておく必要があります。
- 予約までの時間を省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰する際にパスワード入力の画面が表示されない設定にしておくことが必要です。
- 予約が実行される5分前までに、予約した人がログオンしていることが必要です。

チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

参照

SmartVision BSのパスワード設定について→PART1の「SmartVision BSにパスワードを設定する」(p.20)

番組表を使って予約する

受信した番組表を使って、番組の録画を予約してみましょう。

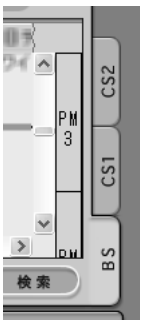
番組を予約するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

参照

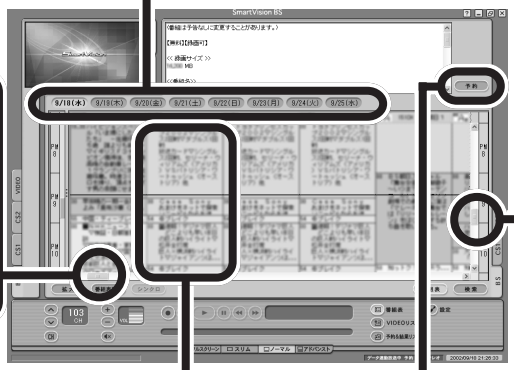
日付と時刻の設定のしかた→オンラインマニュアルの「4. 番組表から予約する」-「パソコンの時計を合わせる」

1 (番組表) をクリックして、番組表を表示する

2 「番組表切り替えタブ」をクリックして、予約したい放送の番組表を表示する



3 予約したい日付をクリックして、表示する



4 スクロールバーを左右にドラッグして、予約したい放送局を表示する

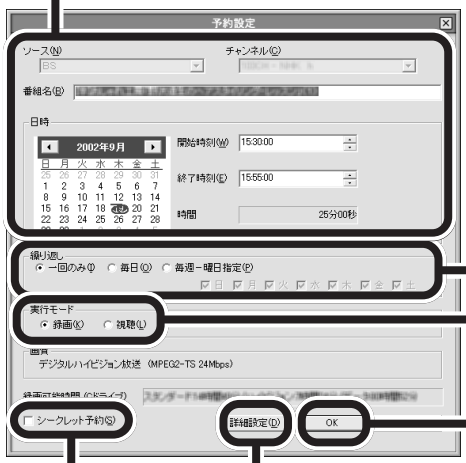
5 スクロールバーを上下にドラッグして、予約したい番組を表示する

番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

6 予約したい番組をクリックする
「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

7 予約 をクリックする
「予約設定」画面が表示される

8 予約内容が正しいかどうか確認する



9 「繰り返し」を選ぶ

一回のみ ：1 回だけ予約をします
毎日 ：この時間、放送局の番組を毎日予約します
毎週 - 曜日指定 ：この時間、放送局の番組を毎週予約します

10 「実行モード」を選ぶ

録画：番組を録画します
視聴：番組を録画せずに視聴します

チェック!!

番組によっては、録画できないものがあります。

参照

詳細設定について→オンラインマニュアルの「4 . 番組表から予約する」-「番組表を使って予約する」

11 必要に応じて「シークレット予約」をクリックして☑にする

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、他のユーザーに予約内容を見せないようにすることができます。

12 受信データの選択、放送時間変更時の操作をすることができます。

13 「OK」をクリックする

これで番組の予約ができました。

●省電力状態にする

視聴・録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを省電力状態にしておきます。予約した時間になると、パソコンは自動的に復帰し、自動的に録画を始めます。

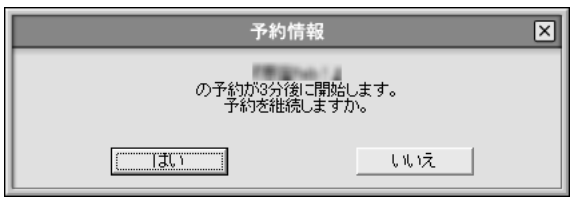
1 **[×]をクリックする**
SmartVision BS を終了します。

2 **パソコンを省電力状態にする**
ご購入時には 20 分なにも操作しないと自動的に省電力状態になるよう設定されています。

ひんぱんに録画する場合（週10時間以上）は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週 1 回程度は、ディスク デフラグ（「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスク デフラグ」）を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスク デフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに実施してください。

●録画予約を実行する

録画予約の開始時刻が近づき、予約開始 3 分前になると、次の画面が表示されます。



また、通知領域の が点滅し、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせます。
録画中は、 が次のように点滅します

チェック!!

- パソコンが省電力状態になると、消費電力が低く抑えられます。
- 予約後にパソコンを省電力状態にしておく場合、パスワードの設定が必要です。

参照

パスワードについて→ PART1 の「Windows のパスワードを設定する」(p.8)、「SmartVision BS にパスワードを設定する」(p.20)

参照

省電力状態について→『パソコン機能ガイド』PART4 の「省電力機能」

参照

ディスク デフラグについて→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンのメンテナンス」

番組表を受信するために、パソコンの時刻を正しく設定してください。

参照

日付と時刻の設定のしかた→オンラインマニュアルの「4. 番組表から予約する」-「パソコンの時計を合わせる」

番組を検索して予約する

番組表のデータから出演者などのキーワードを指定して番組を検索して予約ができます。

●ジャンルや出演者で検索する

1 (番組表)をクリックして、番組表を表示する

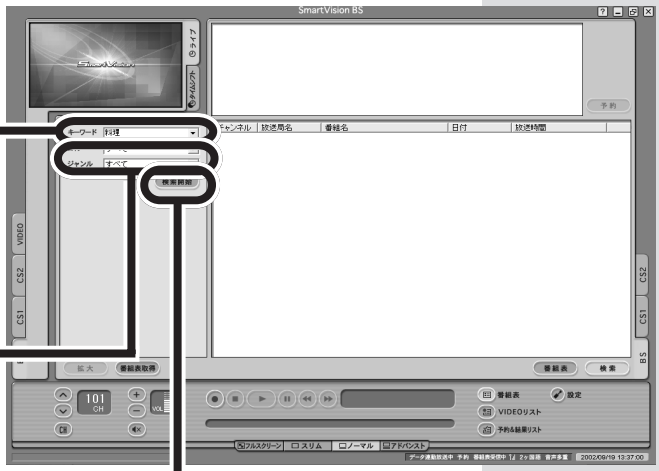
2 「番組表切り替えタブ」をクリックして、予約したい放送の番組表を表示する

3 検索 をクリックする

4 キーワードを入力する

キーワードには、出演者名や番組タイトルなどを入力してください。

5 検索する日付の範囲と検索する番組のジャンルを選ぶ



6 検索開始 をクリックする

次の画面が表示される

チェック!!

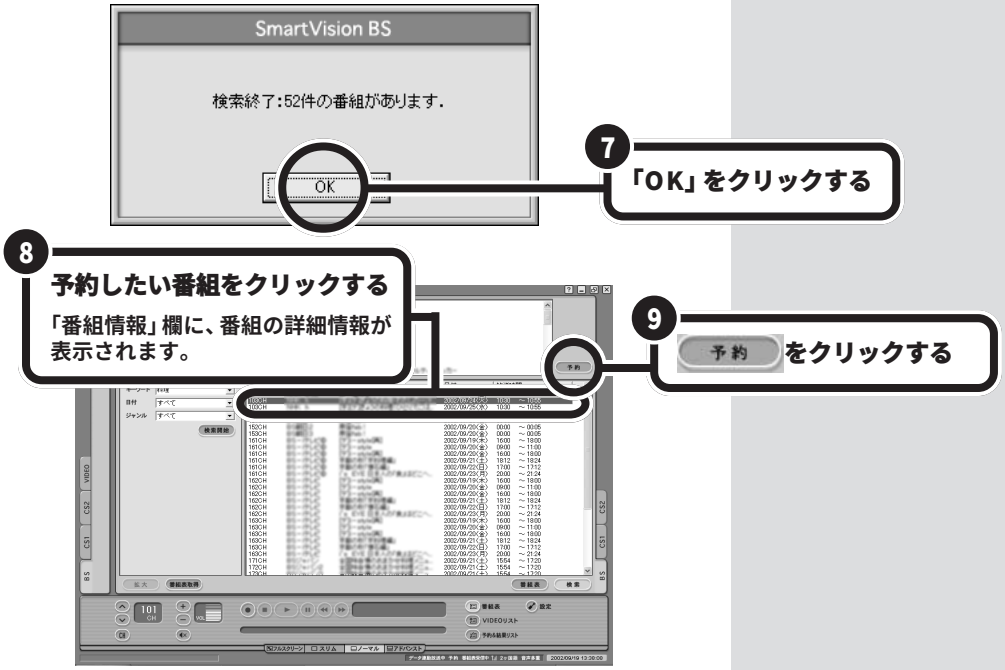
番組表のデータがない場合、番組を検索できません。

参照

番組表の受信の設定について→このＰＡＲＴの「番組表を受信する」(p.60)

チェック!!

- 複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します(「料理　魚」など)。設定したキーワードすべてを含む番組が検索されます。
- 番組の検索は、番組表切り替えタブで選択されている放送が対象になります。



「予約設定」画面が表示されます。この後は、「番組表を使って予約する」（p.62）の手順 8 以降を行って番組を予約してください。

予約するときの注意

- パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。
- 予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。
- 予約は、現在の時刻から 3 分以上後の番組が対象です。
- BS 番組の録画は開始時刻より若干（2 ～ 6 秒）遅れて録画が開始される場合があります。
- 予約は 30 件まで行えます。
- 予約時刻が重なっている場合は、エラー画面が表示され、予約ができません。
- 放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。

  録画開始時：録画開始処理のため、番組開始から若干（最大 5 秒）遅れて録画が開始されます。

  録画終了時：同じチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の5秒前に終了します。異なるチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。
- 視聴と録画など、複数の番組を異なるモードで予約する場合は、すでに予約済みの番組の開始 3 分前から終了 3 分後までの時間帯に重なる番組は予約できません。

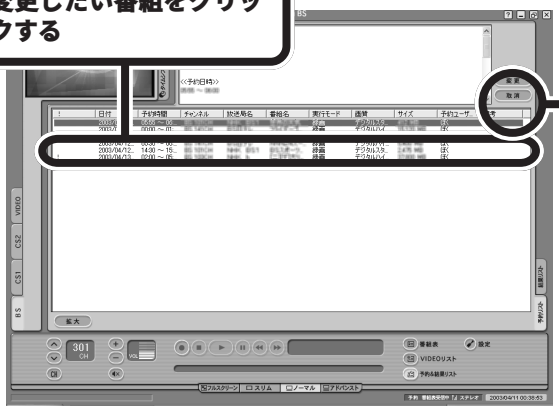
予約の確認や変更をする

1 (予約＆結果リスト) をクリックする

2 「予約リスト」タブをクリックする

予約一覧が表示される

3 予約内容を確認、または変更したい番組をクリックする



4 変更 をクリックする

「予約設定」画面が表示される

チェック!!

- 取消 をクリックすると、予約を取り消せます。
- 拡大 をクリックすると、画面いっぱいに表示することができます。

5 予約内容を確認または変更する

6 「OK」をクリックする

7 変更内容を確認する

これで予約の変更ができました。

予約した録画が成功したか確認する

1 （予約＆結果リスト）をクリックする

2 「結果リスト」タブをクリックする

結果一覧が表示される

3 **予約結果を確認する**

結果一覧の記号の意味は次の通りです。

○成功　：録画に成功したことを意味します

●失敗　：録画に失敗したことを意味します

番組購入：購入金額を表します（番組購入時のみ）

「今月の購入金額」欄には、その月に購入した番組の総額が表示されます。

チェック!!

- 予約録画の実行中に録画する時間を変更したり、録画を停止した場合、結果リストには「●失敗」と表示されます。
- 「今月の購入金額」に表示される金額は概算のため、実際に請求される金額とは異なる場合があります。

PART

5

SmartVision BS Q&A

テレビがうまく見られないときやアプリケーションがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。
オンラインマニュアルの「9.困ったときには」も合わせてご覧ください。

テレビがうまく見られないときには

テレビや録画した番組を見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

SmartVision BSが起動できない

☹➡☺ 他のアプリケーションが起動していませんか？

「SmartVision（チャンネル設定ユーティリティを含む）」、「bitcast browser」、「もじぞう」、「VideoStudio」、「WinDVD 4」など、映像を表示するアプリケーションと同時に動作させることはできません。起動しているアプリケーションをいったん終了させた後、SmartVision BSを起動してください。

☹➡☺ 他のユーザーがログオンしてSmartVision BS、SmartVisionなどのアプリケーションを起動していませんか？

複数のユーザーアカウントを設定している場合、他のユーザーがログオンしてアプリケーションを起動している場合があります。他のユーザーがログオンしていないか確認してください。「スタート」メニューから「ログオフ」をクリックして、「Windowsのログオフ」画面で「ユーザーの切り替え」をクリックします。ログオンしている場合には、ユーザー名の下に「x個のプログラムを実行しています」と表示されます。

テレビが映らない

☹➡☺ アンテナは接続されていますか?

アンテナを接続してください。接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」（p.4）をご覧ください。

☹➡☺ 本体とディスプレイは正しく接続されていますか?

本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『はじめにお読みください』またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

☹➡☺ 他のアプリケーションが起動していませんか?

「SmartVision（チャンネル設定ユーティリティを含む）」、「bitcast browser」、「もじぞう」、「VideoStudio」、「WinDVD 4」など、映像を表示するアプリケーションと同時に動作させることはできません。起動しているアプリケーションをいったん終了させた後、SmartVision BS を起動してください。

エクスポートした録画番組を再生するとコマ落ちして正常に表示できない

☹➡☺ Norton AntiVirusのオートプロテクトを無効にしてください。

1 通知領域の を右クリックする。

2 表示されたメニューから「Auto-Protectを無効にする」をクリックする。

なお、SmartVision BS を終了したら、再度 を右クリックして、表示されたメニューから「Auto-Protectを有効にする」をクリックしてください。

音が出ない、音が大きすぎる

☹➡☺ スピーカの音量を調整してください。

PART2 の「音量を調節する」（p.33）をご覧ください。

☹➡☺ SmartVision BS で音量調節をしてください

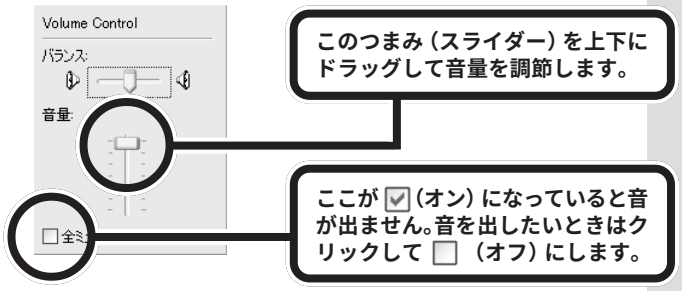
PART2 の「音量を調節する」（p.33）をご覧ください。

☹➡☺ リモコンまたはキーボードで音量調整を行ってください。

☹➡☺ 「Volume Control」ウィンドウでミュート（消音）の確認と音量の調節をしてください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。

2 「Volume Control」ウィンドウで全ミュートが☑（オン）になっているときはクリックして☐（オフ）にしてください。



さらにスライダー（ ）を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

録画ができない

☹➡☺ **ハードディスクの空き容量は十分ありますか？**

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、映像を録画するのに十分な空き容量がないと、録画できないことがあります。
不要な映像データなどを消去してください。

☹➡☺ **録画できる番組ですか？**

番組によっては、録画ができないものもあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、PART3 の「録画について」（p.42）をご覧ください。

参照
番組情報を見る→ PART4 の「番組表を使う」（p.58）

視聴予約や録画予約ができないときには

番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

予約設定ができない

☹➡☺ SmartVisionと予約が重なっていませんか？

SmartVisionなどの映像を表示するアプリケーションは、同時に起動することができません。SmartVision BSの視聴予約が、SmartVisionでの地上波テレビの視聴予約と時間帯が重複していないか確認してください。地上波テレビと重複している場合は、SmartVisionの視聴予約を取り消してください。

☹➡☺ 他のユーザーが予約設定をしていませんか？

他のユーザーが予約設定している時間と重複していると、予約ができません。
予約設定しているユーザーアカウントでログオンして、重複している予約を取り消してください。続いて自分のユーザーアカウントでログオンしなおして、予約を行ってください。

録画予約した番組が録画されていない

☹➡☺ 省電力状態やスクリーンセーバーから復帰するときのパスワードや、SmartVision BSのパスワードは設定済みですか？また、スタンバイ状態から復帰するときにパスワード確認画面は表示しない設定になっていますか？

パスワードの設定がされていない場合、予約ができません。また、パスワードを設定していても、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面を表示する設定になっていると、パスワード入力がない場合に復帰ができないため、予約を実行できません。
WindowsおよびSmartVision BSのパスワードを設定し、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されない設定にしておいてください。

参照
視聴予約の取り消しをするときは→「TVモデルガイド」PART4の「番組を予約する」

参照
・Windowsのパスワードについて→PART1の「Windowsのパスワードを設定する」(p.8)
・SmartVision BSのパスワードについて→PART1の「SmartVision BSにパスワードを設定する」(p.20)

☹➡☺「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

☹➡☺予約設定した別のユーザーでログオンしていませんか？

予約録画は、登録したユーザーでログオンしたときのみ有効です。また、スタンバイ状態や休止状態から起動する場合も、必ず予約したユーザーが、起動させてください。

参照
予約実行結果を確認する→ PART4 の「予約した録画が成功したか確認する」（p.68）

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

☹➡☺録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、VIDEO リストに表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

参照
予約実行結果を確認する→ PART4 の「予約した録画が成功したか確認する」（p.68）

☹➡☺「シークレット予約」で録画していませんか？

シークレット予約で録画すると、他のユーザーでログオンしたときには、番組名に「シークレット録画」と表示されます。録画したユーザーでログオンすると、番組名などが表示されます。

データ放送 / 番組表などの受信がうまくいかないときには

データ放送や番組表を見ようとして問題が起きたときには、ここをご覧ください。

参照
・データ放送について→ PART2 の「データ放送を見る」(p.35)
・番組表について→ PART4 の「番組表を使う」(p.58)

受信できない

☹➡☺ アンテナは正しく接続されていますか?

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続については、PART1 の「アンテナ線を接続する」(p.4) をご覧ください。

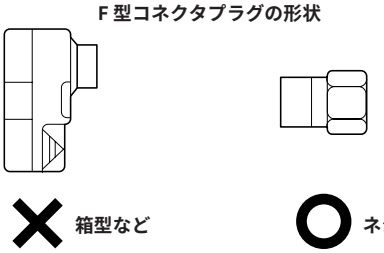
☹➡☺ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善されることがあります。

☹➡☺ アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか?

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプの F 型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F 型コネクタプラグの形状



参照
アンテナ線に F 型コネクタプラグを取り付ける→『TV モデルガイド』PART1 の「アンテナ線を接続する」

☹➡☺ ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっていませんか?

『TV モデルガイド』PART1 の「アンテナ線を接続する」をご覧になり、F 型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

データ放送が表示できない

☹➡☺ **データ放送を行っているチャンネルになっていますか?**

データ放送を行っている番組かどうか確認してください。画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています（ラジオ番組や独立データ放送では表示されません）。

☹➡☺ **タイムシフトモードになっていませんか？**

タイムシフトモードでは、データ放送の表示ができません。データ放送を見る場合は、ライブモードに切り替えてください。

☹➡☺ **タイムシフトモード中に録画していませんか？**

タイムシフトモード中やタイムシフトモードで録画した番組を再生して見る場合、データ放送の表示ができません。

☹➡☺ **「常に最前面に表示」にチェックがついていませんか？**

画面表示部で右クリックをして、メニューを表示させます。「常に最前面に表示する」にチェックがついている場合は、データ放送の表示ができません。
チェックをクリックしてオフにしてください。

索　引

英数字

110度CSデジタル放送 i
B-CASカード 6,7
BSデジタル放送 ..... 巻頭
CAS 7
DVD-R 50,53
F型コネクタプラグ 3,4
ICカードBOX 5
Norton AntiVirus 12
PPV（ペイ・パー・ビュー） 38
Windowsのパスワード 8

あ行

アドバンストモード 25
アンテナ設定 18
アンテナ線 4
一時停止 27
映像切り替え 39
エクスポート 48
音声切り替え 39
オンラインヘルプ 24
音量の調節 33

か行

画質 56
キーボード 30,34
キャプチャ 43
ケーブルテレビ 3
検索 64
限定受信システム 7
コントロールバー 24

さ行

再生 46,47
しおり 25
視聴予約 62,73
字幕放送 39
省電力状態 61,73
ステータスバー 24
スリムモード 26
接続 2
設定 24

た行

タイムシフトモード 27
ダウンロード 25
チャンネル 29,59
データ放送 35,75

な行

ノーマルモード 24

は行

パスワード 8,20,73
ハードディスク 42,72
番組情報 59
番組表 58
ビデオデッキ 55
プリセット 30
フルスクリーンモード 26
プレイモードタブ 24
プログレスバー 24
ヘルプ 24
ボリュームコントロール 33

ま行

巻き戻し 27,45
巻き戻し録画 45
メール 25
文字スーパー 39

や行

有料放送 38
予約 61
予約結果 68
予約の確認 66
予約の変更 66
予約リスト 66

ら行

ライブモード 27
ラジオ放送 38
リモコン 30,34,37
録画 42,61
録画の中断 46
録画予約 61,73

MEMO

MEMO

このマニュアルは再生紙
（古紙率：表紙50%、本文100%）
を使用しています。

パソコンで楽しむ
ＢＳデジタル放送

VALUESTAR

初版　2003年5月
NEC
P
853-810601-112-A
Printed in Japan